

令和6年度 神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査 調査結果の概要2 (公立学校分)

資料2

目 次

1 暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2 いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校、県・市町村教育委員会）	・・・ 5
3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 12
4 長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 22
5 中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 30
6 自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 33
7 出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 34
8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 35
9 暴力行為、いじめ、長期欠席 地域別の状況（公立小・中学校）	・・・ 38
＊ 「令和6年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査」及び文部科学省の「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」の調査結果をもとに、県内の公立学校の状況をまとめたもの	
＊ 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む	

令和7年10月
神奈川県教育委員会

主な調査結果の前年度比較

項目（調査対象）	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
暴力行為の発生件数 （公立小・中・高等学校）	14, 537件	11, 792件	2, 745件 増加
いじめの認知件数 （公立小・中・高・特別支援学校）	50, 996件	44, 274件	6, 722件 増加
いじめの解消率			
令和 7 年 3 月 31 日現在の状況	70. 0%	71. 3%	1. 3ポイント 減
令和 7 年 7 月 20 日現在の状況【県独自】	90. 0%	91. 6%	1. 6ポイント 減
公立小・中学校 長期欠席者数	34, 545人	32, 984人	1, 561人 増加
うち小・中学校不登校児童・生徒数	24, 250人	23, 629人	621人 増加
公立高等学校 長期欠席者数	8, 251人	8, 068人	183人 増加
うち高等学校不登校生徒数	3, 850人	3, 947人	97人 減少
中途退学者数 （公立高等学校）	2, 180人	2, 253人	73人 減少

1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

(1-1)暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	計				
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	うち2回 以上
小 学 校	850	611	71.9	10,895	7,664	565
中 学 校	413	331	80.1	3,247	3,011	201
高等学校	151	94	62.3	395	490	12
計	1,414	1,036	73.3	14,537	11,165	778

イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小 学 校	850	267	31.4	1,285	494
中 学 校	413	97	23.5	192	146
高等学校	151	11	7.3	17	17
計	1,414	375	26.5	1,494	657

エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小 学 校	850	17	2.0	21	23
中 学 校	413	14	3.4	19	18
高等学校	151	5	3.3	5	6
計	1,414	36	2.5	45	47

ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小 学 校	850	566	66.6	8,606	6,505
中 学 校	413	311	75.3	2,408	2,318
高等学校	151	74	49.0	241	309
計	1,414	951	67.3	11,255	9,132

オ 器物損壊

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小 学 校	850	289	34.0	983	897
中 学 校	413	186	45.0	628	619
高等学校	151	52	34.4	132	166
計	1,414	527	37.3	1,743	1,682

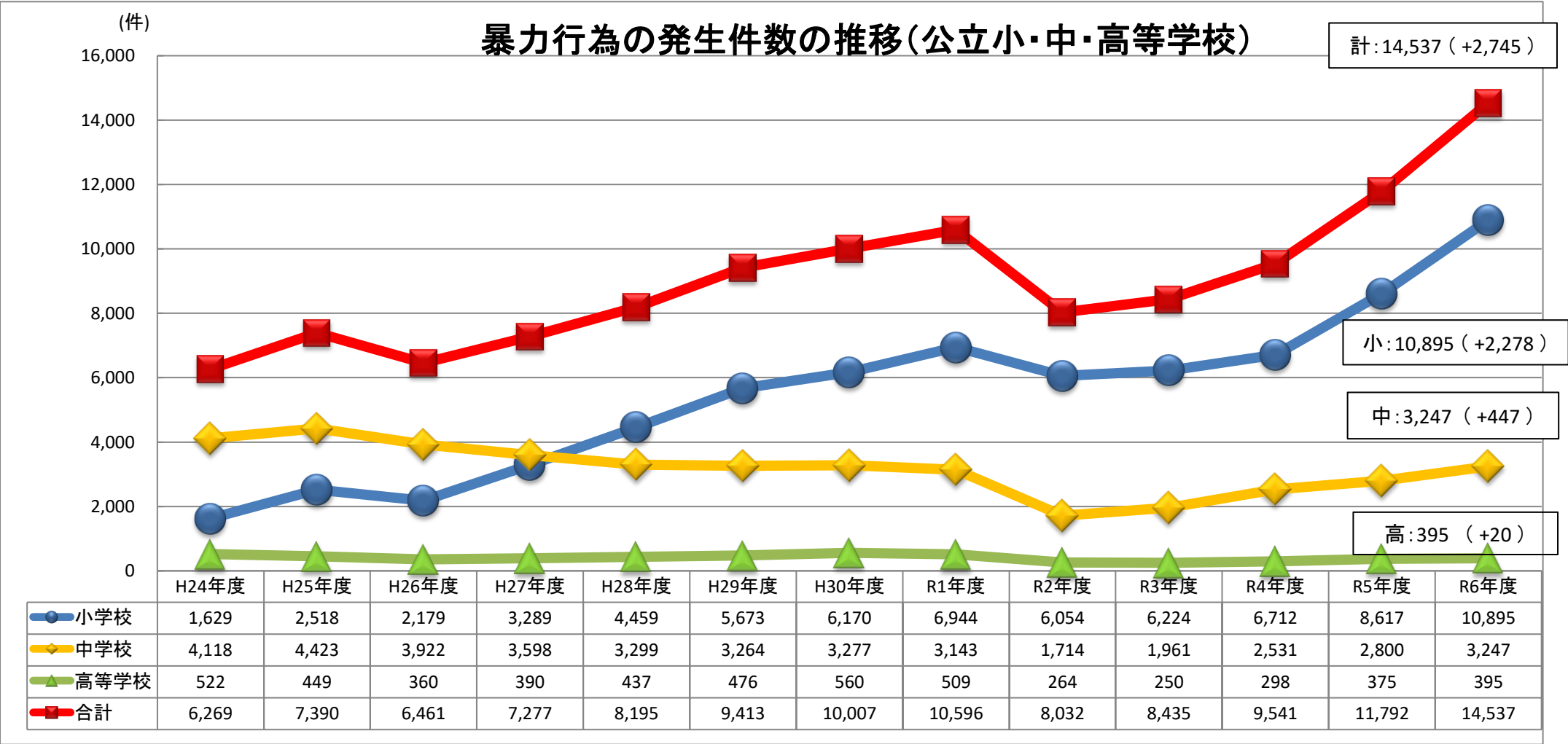
※ア～オともに

(注1)学校総数は、令和6年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。

(注2)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害児童・生徒数は、各区分ごとに実数。

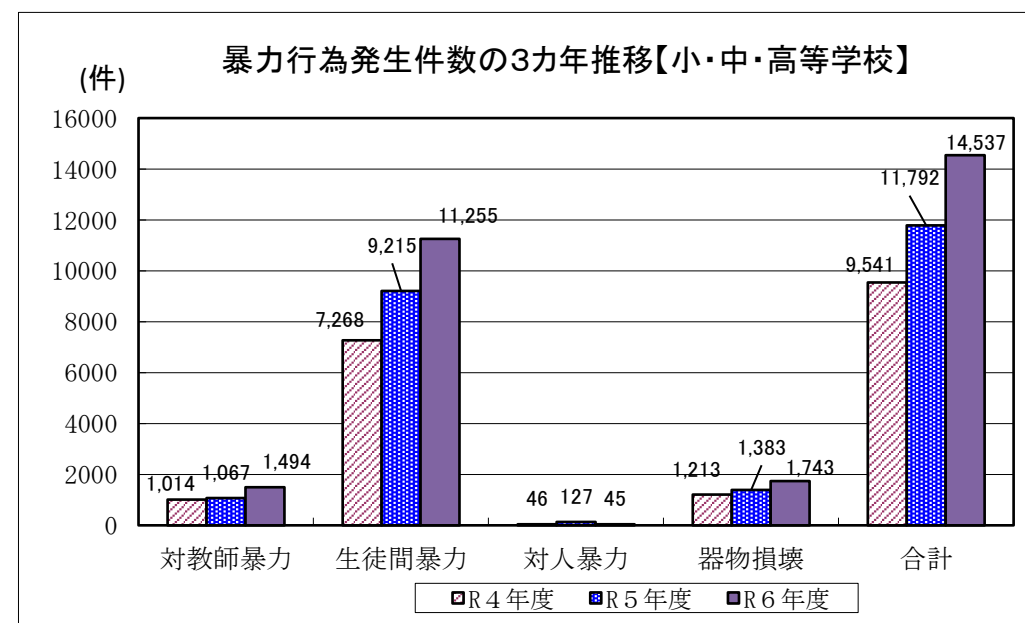
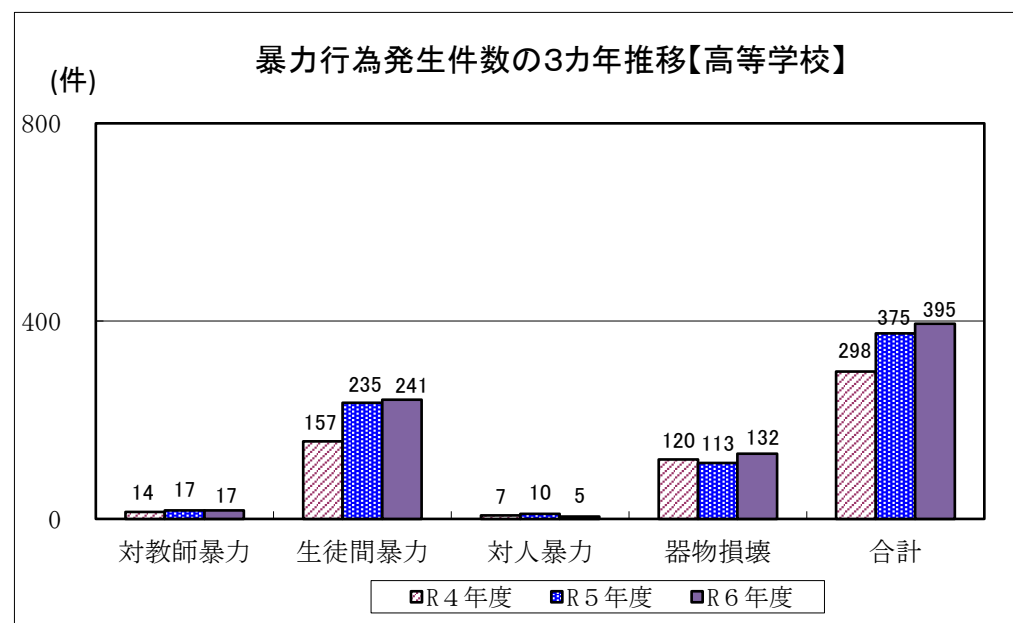
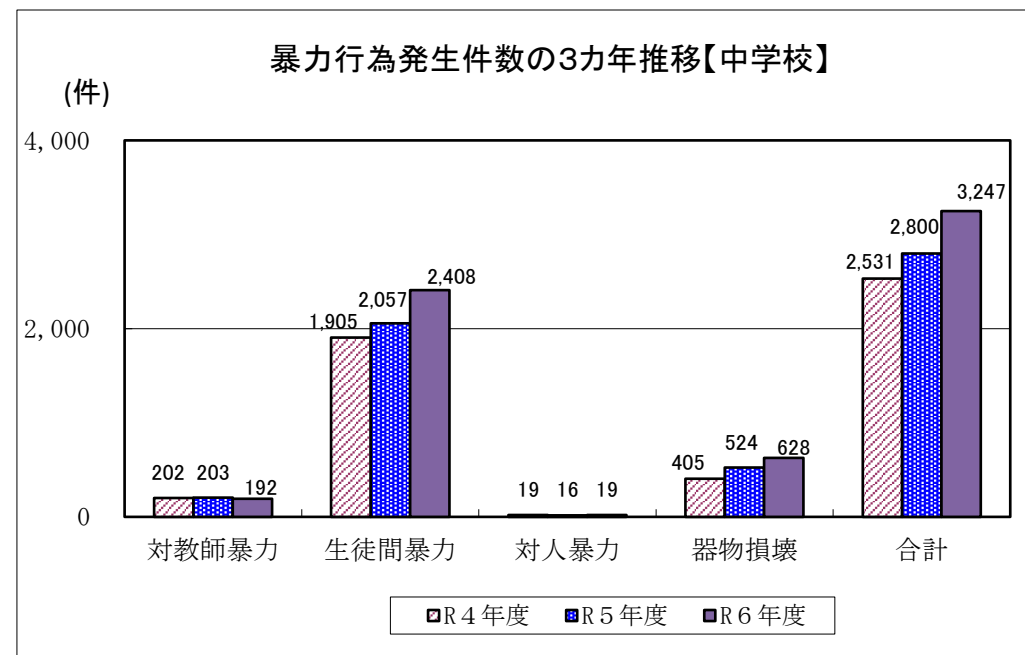
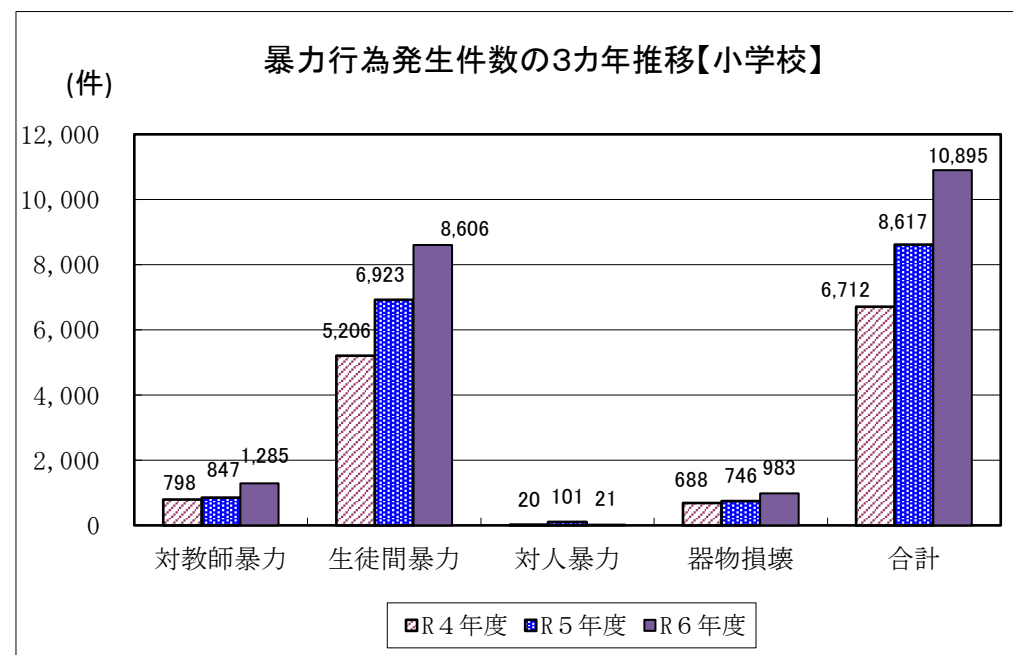
(注3)「合計」欄の発生学校数は、各区分ごとに実数。

(参考1)
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2)学年別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
	1,290	1,306	1,249	1,363	1,256	1,200	7,664	1,449	1,032	530	3,011	284	138	68	490	11,165

(注)人数は、実人数で、「1 暴力行為の状況」の「(1-1)暴力行為の発生状況」の「ア 合計」の「加害児童・生徒数(人)」と各学校種の合計欄の人数と一致する。

(1-3)加害児童・生徒への特別な対応

区分		小学校		中学校		高等学校		計	
		件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った		357	3.3	75	2.3	51	12.9	483	3.3
校長、教頭が指導した		928	8.5	158	4.9	267	67.6	1,353	9.3
別室指導した		166	1.5	68	2.1	170	43.0	404	2.8
学級替えをした		8	0.1	0	0.0	1	0.3	9	0.1
退学	懲戒処分としての退学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
転学	その他	1	0.0	1	0.0	9	2.3	11	0.1
停学		-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
出席停止		0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0
自宅学習・自宅謹慎		-	-	-	-	32	8.1	32	0.2
訓告		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
保護者への報告		7,718	70.8	2,682	82.6	353	89.4	10,753	74.0
被害児童・生徒等やその保護者に対する謝罪の指導		6,414	58.9	2,277	70.1	214	54.2	8,905	61.3
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	106	1.0	120	3.7	16	4.1	242	1.7
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	145	1.3	42	1.3	3	0.8	190	1.3
	ウ 首長部局等（イを除く）との連携	12	0.1	4	0.1	1	0.3	17	0.1
	エ 病院等の医療機関等との連携	158	1.5	56	1.7	4	1.0	218	1.5
	オ その他の専門的な関係機関との連携	129	1.2	20	0.6	3	0.8	152	1.0
	カ 地域の人材や団体等との連携	50	0.5	6	0.2	0	0.0	56	0.4
暴力行為の発生件数		10,895		3,247		395		14,537	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は発生件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

(2－1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数： A (校)	認知学校数： B (校)	比率： B / A × 100 (%)	認知件数： C (件)	1校あたりの認知 件数：C / A (件)	認知していない 学校数：D (校)	比率： D / A × 100 (%)
小 学 校	850	847	99. 6	41, 685	49. 0	3	0. 4
中 学 校	413	408	98. 8	8, 785	21. 3	5	1. 2
高 等 学 校	176	84	47. 7	307	1. 7	92	52. 3
特別支援学校	49	21	42. 9	219	4. 5	28	57. 1
計	1, 488	1, 360	91. 4	50, 996	34. 3	128	8. 6

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つて行うものとする。
「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。
なお、起こった場所は学校の内外を問わない。「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)小・中学校の学校総数は、令和6年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。

(注3)高等学校の学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2－2)いじめの認知件数の学年別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
計	6,529	7,251	7,377	7,389	7,283	5,856	41,685	4,244	2,961	1,580	8,785	138	121	48	307

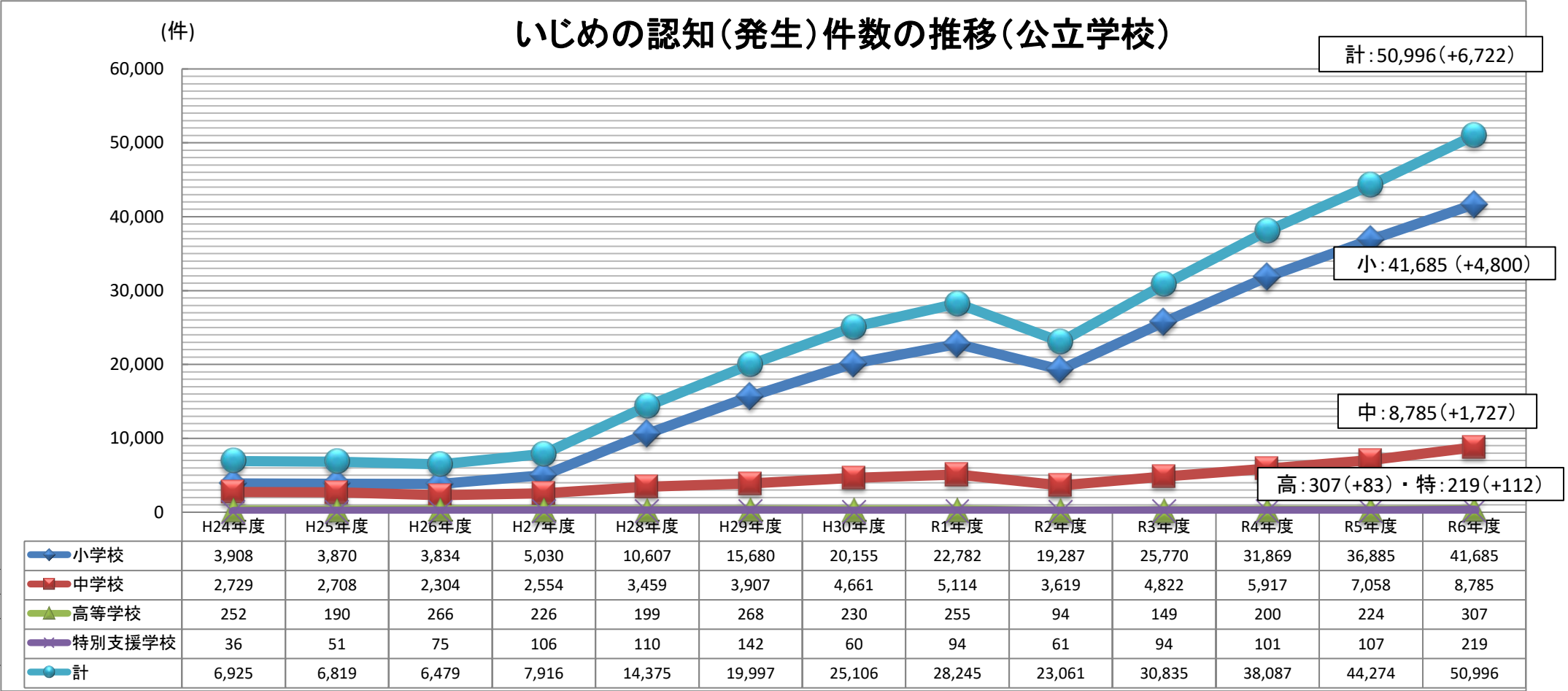
区分	特別支援学校																合計
	小学部							中学部				高等部				計	
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
計	5	8	6	10	8	20	57	12	9	10	31	58	42	31	131	219	50,996

(2－3)警察に相談・通報した件数

区 分	いじめの認知件数		
	(単位：件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位：件)	警察に相談・通報した 件数の割合 (単位：%)
小 学 校	41,685	169	0.4
中 学 校	8,785	155	1.8
高 等 学 校	307	5	1.6
特別支援学校	219	2	0.9
計	50,996	331	0.6

(注１)「うち、警察に相談・通報した件数（単位：件）」は、「認知件数（単位：件）」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)
いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4)いじめの状況(令和7年3月31日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中(3カ月以上)		解消に向けて取組中(3カ月未満)		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	29,589	71.0	5,035	12.1	7,037	16.9	24	0.1	41,685	100.0
中学校	5,716	65.1	1,691	19.2	1,366	15.5	12	0.1	8,785	100.0
高等学校	237	77.2	47	15.3	17	5.5	6	2.0	307	100.0
特別支援学校	154	70.3	19	8.7	46	21.0	0	0.0	219	100.0
計	35,696	70.0	6,792	13.3	8,466	16.6	42	0.1	50,996	100.0

(2-5)いじめの現在の状況(令和7年7月20日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	37,976	91.1	3,673	8.8	36	0.1	41,685	100.0
中学校	7,444	84.7	1329	15.1	12	0.1	8,785	100.0
高等学校	261	85.0	38	12.4	8	2.6	307	100.0
特別支援学校	202	92.2	17	7.8	0	0.0	219	100.0
計	45,883	90.0	5,057	9.9	56	0.1	50,996	100.0

(注1) 「その他」は、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から私立、私立から公立などの転学や退学等、「解消しているもの」「解消に向けて取組中」に該当しないものとする。
(注2) (2-5) いじめの現在の状況(令和7年7月20日現在の状況)は県独自調査によるもの。

(2-6)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	16,135	38.7	2,777	31.6	116	37.8	138	63.0	19,166	37.6
学級担任が発見	5,400	13.0	1,012	11.5	20	6.5	92	42.0	6,524	12.8
学級担任以外の教職員が発見（養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く）	1,344	3.2	922	10.5	8	2.6	25	11.4	2,299	4.5
養護教諭が発見	188	0.5	77	0.9	10	3.3	2	0.9	277	0.5
スクールカウンセラー等の相談員が発見	62	0.1	25	0.3	3	1.0	3	1.4	93	0.2
アンケート調査など学校の取組により発見	9,141	21.9	741	8.4	75	24.4	16	7.3	9,973	19.6
学校の教職員等以外からの情報により発見	25,550	61.3	6,008	68.4	191	62.2	81	37.0	31,830	62.4
本人からの訴え	11,792	28.3	3,549	40.4	138	45.0	28	12.8	15,507	30.4
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	10,310	24.7	1,634	18.6	36	11.7	15	6.8	11,995	23.5
児童・生徒（本人を除く）からの情報	2,586	6.2	637	7.3	9	2.9	7	3.2	3,239	6.4
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	736	1.8	146	1.7	8	2.6	4	1.8	894	1.8
地域の住民からの情報	26	0.1	9	0.1	0	0.0	0	0.0	35	0.1
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	76	0.2	20	0.2	0	0.0	27	12.3	123	0.2
その他(匿名による投書など)	24	0.1	13	0.1	0	0.0	0	0.0	37	0.1
計	41,685	100	8,785	100	307	100	219	100	50,996	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-7)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	32,355	77.6	6,179	70.3	225	73.3	193	88.1	38,952	76.4
学級担任以外の教職員に相談（養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く）	6,033	14.5	2,353	26.8	88	28.7	53	24.2	8,527	16.7
養護教諭に相談	1,018	2.4	389	4.4	26	8.5	10	4.6	1,443	2.8
スクールカウンセラー等の相談員に相談	567	1.4	271	3.1	15	4.9	12	5.5	865	1.7
学校以外の相談機関に相談（電話相談やメール等も含む）	170	0.4	89	1.0	8	2.6	14	6.4	281	0.6
保護者や家族等に相談	14,605	35.0	2,636	30.0	72	23.5	52	23.7	17,365	34.1
友人に相談	2,139	5.1	677	7.7	19	6.2	7	3.2	2,842	5.6
その他(地域の人など)	136	0.3	12	0.1	0	0.0	0	0.0	148	0.3
誰にも相談していない	2,023	4.9	504	5.7	5	1.6	5	2.3	2,537	5.0
いじめの認知件数	41,685		8,785		307		219		50,996	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。 （注2）構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	21,999	52.8	5,325	60.6	176	57.3	66	30.1	27,566	54.1
仲間はずれ、集団による無視をされる	3,546	8.5	698	7.9	40	13.0	13	5.9	4,297	8.4
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	9,319	22.4	1,098	12.5	22	7.2	26	11.9	10,465	20.5
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	3,797	9.1	504	5.7	4	1.3	99	45.2	4,404	8.6
金品をたかられる	416	1.0	114	1.3	4	1.3	0	0.0	534	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	2,859	6.9	436	5.0	8	2.6	8	3.7	3,311	6.5
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	5,819	14.0	752	8.6	26	8.5	14	6.4	6,611	13.0
パソコンや携帯電話等で、ひぼう中傷や嫌なことをされる	1,151	2.8	877	10.0	55	17.9	17	7.8	2,100	4.1
その他	1,320	3.2	316	3.6	27	8.8	22	10.0	1,685	3.3
いじめの認知件数		41,685	8,785		307		219		50,996	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。 (注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめる児童・生徒への特別な対応

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った		468	1.1	146	1.7	36	11.7	23	10.5	673	1.3
校長、教頭が指導した		1,014	2.4	49	0.6	43	14.0	2	0.9	1,108	2.2
別室指導した		135	0.3	50	0.6	32	10.4	12	5.5	229	0.4
学級替えをした		10	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	0.0
退学	懲戒処分としての退学	－	－	－	－	0	0.0	0	0.0	0	0.0
転学	その他	3	0.0	1	0.0	7	2.3	0	0.0	11	0.0
停学		－	－	－	－	0	0.0	0	0.0	0	0.0
出席停止		0	0.0	0	0.0	－	－	－	－	0	0.0
自宅学習・自宅謹慎		－	－	－	－	7	2.3	1	0.5	8	0.0
訓告		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
保護者への報告		26,887	64.5	6,903	78.6	199	64.8	192	87.7	34,181	67.0
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導		24,746	59.4	5,400	61.5	57	18.6	95	43.4	30,298	59.4
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	181	0.4	148	1.7	3	1.0	7	3.2	339	0.7
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	140	0.3	64	0.7	0	0.0	8	3.7	212	0.4
	ウ 首長部局等（イを除く）との連携	5	0.0	7	0.1	0	0.0	0	0.0	12	0.0
	エ 病院等の医療機関等との連携	96	0.2	20	0.2	2	0.7	17	7.8	135	0.3
	オ その他の専門的な関係機関との連携	81	0.2	30	0.3	4	1.3	9	4.1	124	0.2
	カ 地域の人材や団体等との連携	50	0.1	4	0.0	0	0.0	0	0.0	54	0.1
いじめの認知件数		41,685		8,785		307		219		50,996	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。 (注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)いじめられた児童・生徒への特別な対応

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った		547	1.3	388	4.4	65	21.2	25	11.4	1,025	2.0
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した		986	2.4	569	6.5	40	13.0	105	47.9	1,700	3.3
緊急避難として欠席させた		1	0.0	3	0.0	11	3.6	0	0.0	15	0.0
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した		435	1.0	799	9.1	5	1.6	2	0.9	1,241	2.4
学級替えをした		13	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	14	0.0
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した		445	1.1	271	3.1	34	11.1	9	4.1	759	1.5
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)		97	0.2	65	0.7	2	0.7	6	2.7	170	0.3
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	80	0.2	119	1.4	4	1.3	3	1.4	206	0.4
	イ 首長部局等（児童相談所等の関係機関を除く）との連携	6	0.0	6	0.1	0	0.0	1	0.5	13	0.0
	ウ 病院等の医療機関等との連携	37	0.1	37	0.4	3	1.0	16	7.3	93	0.2
	エ その他の専門的な関係機関との連携	62	0.1	20	0.2	5	1.6	8	3.7	95	0.2
	オ 地域の人材や団体等との連携	28	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	28	0.1
いじめの認知件数		41,685		8,785		307		219		50,996	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-11)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じて、いじめの問題に関して教職員間で共通理解を図った		850	100.0	413	100.0	176	100.0	48	98.0	1,487	99.9
いじめの問題に関する校内研修会を実施した		834	98.1	407	98.5	174	98.9	44	89.8	1,459	98.1
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った		850	100.0	413	100.0	81	46.0	32	65.3	1,376	92.5
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした		792	93.2	390	94.4	68	38.6	27	55.1	1,277	85.8
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った		845	99.4	407	98.5	176	100.0	47	95.9	1,475	99.1
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った		834	98.1	405	98.1	176	100.0	45	91.8	1,460	98.1
学校・警察連絡員の指定を行った		850	100.0	413	100.0	176	100.0	40	81.6	1,479	99.4
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた		848	99.8	409	99.0	176	100.0	46	93.9	1,479	99.4
保護者やPTAなどとともに、いじめの問題について協議する機会を設けた		593	69.8	290	70.2	24	13.6	10	20.4	917	61.6
地域の人材や団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた		571	67.2	284	68.8	25	14.2	10	20.4	890	59.8
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った		715	84.1	352	85.2	41	23.3	17	34.7	1,125	75.6
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した		817	96.1	392	94.9	114	64.8	30	61.2	1,353	90.9
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った		850	100.0	413	100.0	176	100.0	48	98.0	1,487	99.9
いじめ防止対策推進法第22条に基づき、いじめ防止等の対策のための組織を招集した		850	100.0	413	100.0	176	100.0	49	100.0	1,488	100.0
学校総数		850		413		176		49		1,488	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-12)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		847	100.0	408	100.0	84	100.0	17	81.0	1,356	99.7
実施頻度	ア 年1回	4	0.5	4	1.0	1	1.2	3	14.3	12	0.9
	イ 年2～3回	696	82.2	216	52.9	82	97.6	14	66.7	1,008	74.1
	ウ 年4回以上	147	17.4	188	46.1	1	1.2	0	0.0	336	24.7
調査方法	ア 記名式	796	94.0	368	90.2	63	75.0	10	47.6	1,237	91.0
	イ 無記名式	363	42.9	181	44.4	9	10.7	7	33.3	560	41.2
	ウ 記名・無記名の選択式	43	5.1	37	9.1	13	15.5	5	23.8	98	7.2
回答方法	ア 学校で記入	847	100.0	403	98.8	73	86.9	13	61.9	1,336	98.2
	イ 持ち帰って記入	12	1.4	33	8.1	18	21.4	6	28.6	69	5.1
個別面談の実施		737	87.0	352	86.3	60	71.4	17	81.0	1,166	85.7
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		304	35.9	192	47.1	4	4.8	4	19.0	504	37.1
家庭訪問		282	33.3	206	50.5	4	4.8	5	23.8	497	36.5
その他		38	4.5	15	3.7	1	1.2	5	23.8	59	4.3
いじめを認知した学校数		847		408		84		21		1,360	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。 (注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		3	100.0	5	100.0	92	100.0	22	78.6	122	95.3
実施頻度	ア 年1回	0	0.0	0	0.0	2	2.2	4	14.3	6	4.7
	イ 年2～3回	1	33.3	3	60.0	88	95.7	18	64.3	110	85.9
	ウ 年4回以上	2	66.7	2	40.0	2	2.2	0	0.0	6	4.7
調査方法	ア 記名式	3	100.0	5	100.0	68	73.9	11	39.3	87	68.0
	イ 無記名式	1	33.3	1	20.0	17	18.5	6	21.4	25	19.5
	ウ 記名・無記名の選択式	1	33.3	0	0.0	12	13.0	7	25.0	20	15.6
回答方法	ア 学校で記入	3	100.0	5	100.0	77	83.7	19	67.9	104	81.3
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	1	20.0	30	32.6	5	17.9	36	28.1
個別面談の実施		2	66.7	4	80.0	68	73.9	21	75.0	95	74.2
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		1	33.3	4	80.0	7	7.6	5	17.9	17	13.3
家庭訪問		1	33.3	1	20.0	3	3.3	4	14.3	9	7.0
その他		0	0.0	0	0.0	1	1.1	1	3.6	2	1.6
いじめを認知していない学校数		3		5		92		28		128	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。 (注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		850	100.0	413	100.0	176	100.0	39	79.6	1,478	99.3
実施頻度	ア 年1回	4	0.5	4	1.0	3	1.7	7	14.3	18	1.2
	イ 年2～3回	697	82.0	219	53.0	170	96.6	32	65.3	1,118	75.1
	ウ 年4回以上	149	17.5	190	46.0	3	1.7	0	0.0	342	23.0
調査方法	ア 記名式	799	94.0	373	90.3	131	74.4	21	42.9	1,324	89.0
	イ 無記名式	364	42.8	182	44.1	26	14.8	13	26.5	585	39.3
	ウ 記名・無記名の選択式	44	5.2	37	9.0	25	14.2	12	24.5	118	7.9
回答方法	ア 学校で記入	850	100.0	408	98.8	150	85.2	32	65.3	1,440	96.8
	イ 持ち帰って記入	12	1.4	34	8.2	48	27.3	11	22.4	105	7.1
個別面談の実施		739	86.9	356	86.2	128	72.7	38	77.6	1,261	84.7
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		305	35.9	196	47.5	11	6.3	9	18.4	521	35.0
家庭訪問		283	33.3	207	50.1	7	4.0	9	18.4	506	34.0
その他		38	4.5	15	3.6	2	1.1	6	12.2	61	4.1
学校総数		850		413		176		49		1,488	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。 (注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2－13)いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生校数(校)	42	30	4	0	76
重大事態発生件数(件)	46	34	5	0	85
うち、第1号	27	19	4	0	50
うち、第2号	38	22	2	0	62

(参考)いじめ防止対策推進法第28号第1項に規定する「重大事態」の発生件数

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
重大事態発生件数(件)	24	21	25	14	8	14	22
うち、第1号	13	9	8	3	4	7	9
うち、第2号	16	15	20	13	5	13	18

「重大事態」について、重大な被害を把握する以前のいじめの対応状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
いじめとして認知していた	38	26	2	0	66
うち、いじめの解消に向けて取組中だった	36	26	1	0	63
うち、いじめは解消していると判断していた	2	0	1	0	3
いじめとして認知していなかった	8	8	3	0	19
うち、いじめに該当し得るトラブル等の情報があった	4	1	2	0	7
うち、いじめに該当し得るトラブル等の情報がなかった	4	7	1	0	12

＊いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2－14)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校	中学校	特別支援学校	合計
児童・生徒数	10	4	0	14

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
2

3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

(3-1)理由別長期欠席者数

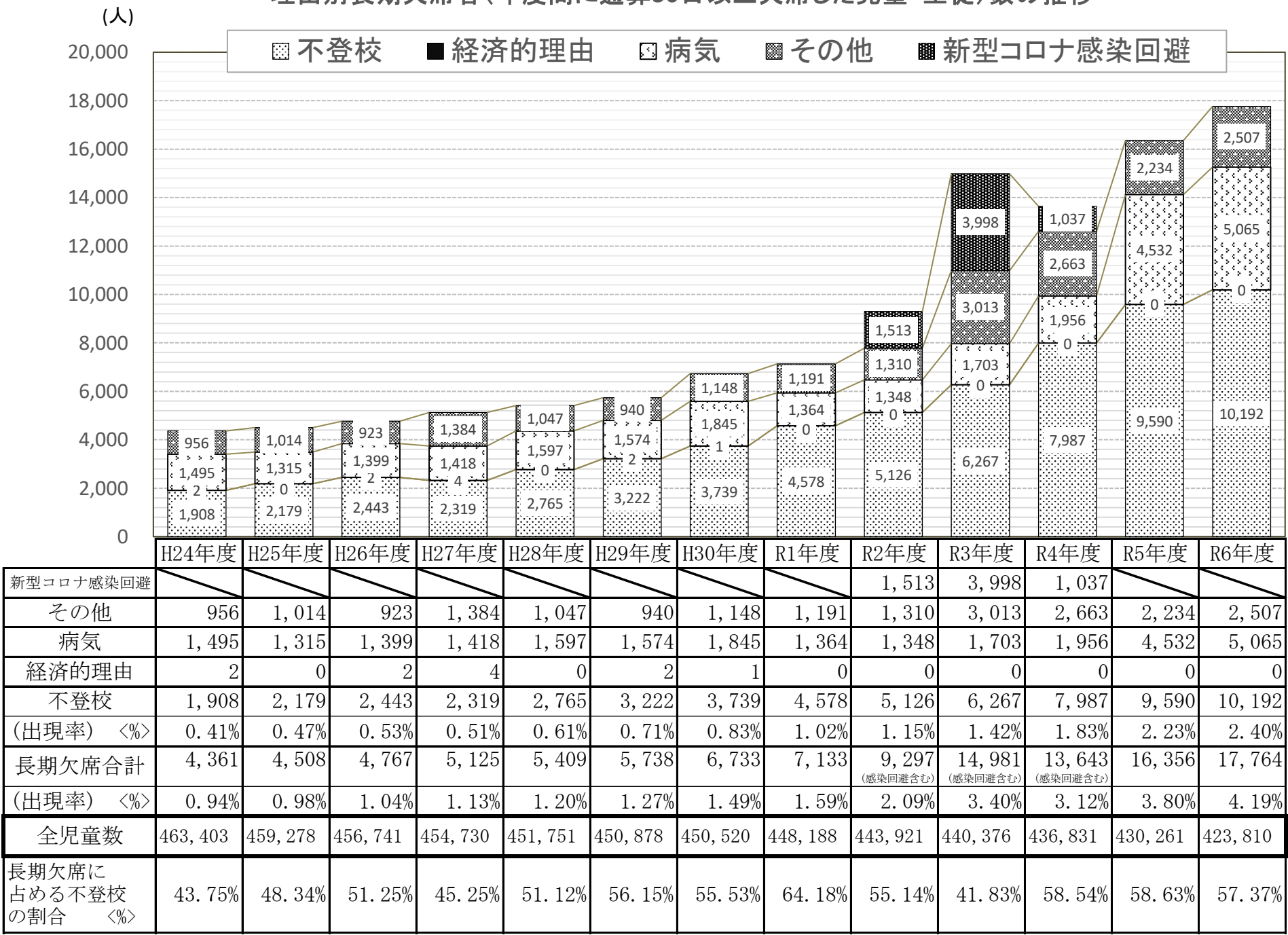
区分	学年	在籍者数	理由別長期欠席者数									
			不登校		経済的理由		病気		その他		計	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学校	1 年 生	66,805	699	1.05	0	0.00	647	0.97	339	0.51	1,685	2.52
	2 年 生	68,443	1,149	1.68	0	0.00	752	1.10	352	0.51	2,253	3.29
	3 年 生	71,243	1,446	2.03	0	0.00	770	1.08	342	0.48	2,558	3.59
	4 年 生	72,146	1,851	2.57	0	0.00	811	1.12	324	0.45	2,986	4.14
	5 年 生	71,723	2,305	3.21	0	0.00	958	1.34	335	0.47	3,598	5.02
	6 年 生	73,450	2,742	3.73	0	0.00	1,127	1.53	815	1.11	4,684	6.38
	計	423,810	10,192	2.40	0	0.00	5,065	1.20	2,507	0.59	17,764	4.19
中学校	1 年 生	64,572	3,785	5.86	0	0.00	624	0.97	135	0.21	4,544	7.04
	2 年 生	66,297	4,884	7.37	0	0.00	801	1.21	162	0.24	5,847	8.82
	3 年 生	66,594	5,389	8.09	0	0.00	759	1.14	242	0.36	6,390	9.60
	計	197,463	14,058	7.12	0	0.00	2,184	1.11	539	0.27	16,781	8.50
合 計		621,273	24,250	3.90	0	0.00	7,249	1.17	3,046	0.49	34,545	5.56

(注1)在籍者数には、義務教育学校及び中等教育学校在籍の児童・生徒数を含む。

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。
「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。
「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)。
「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席したもの。
「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席したもの。
「その他」：上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由により長期欠席したもの。
※令和5年度調査から新たに、「その他」の具体例として「感染症の回避」が加わった。

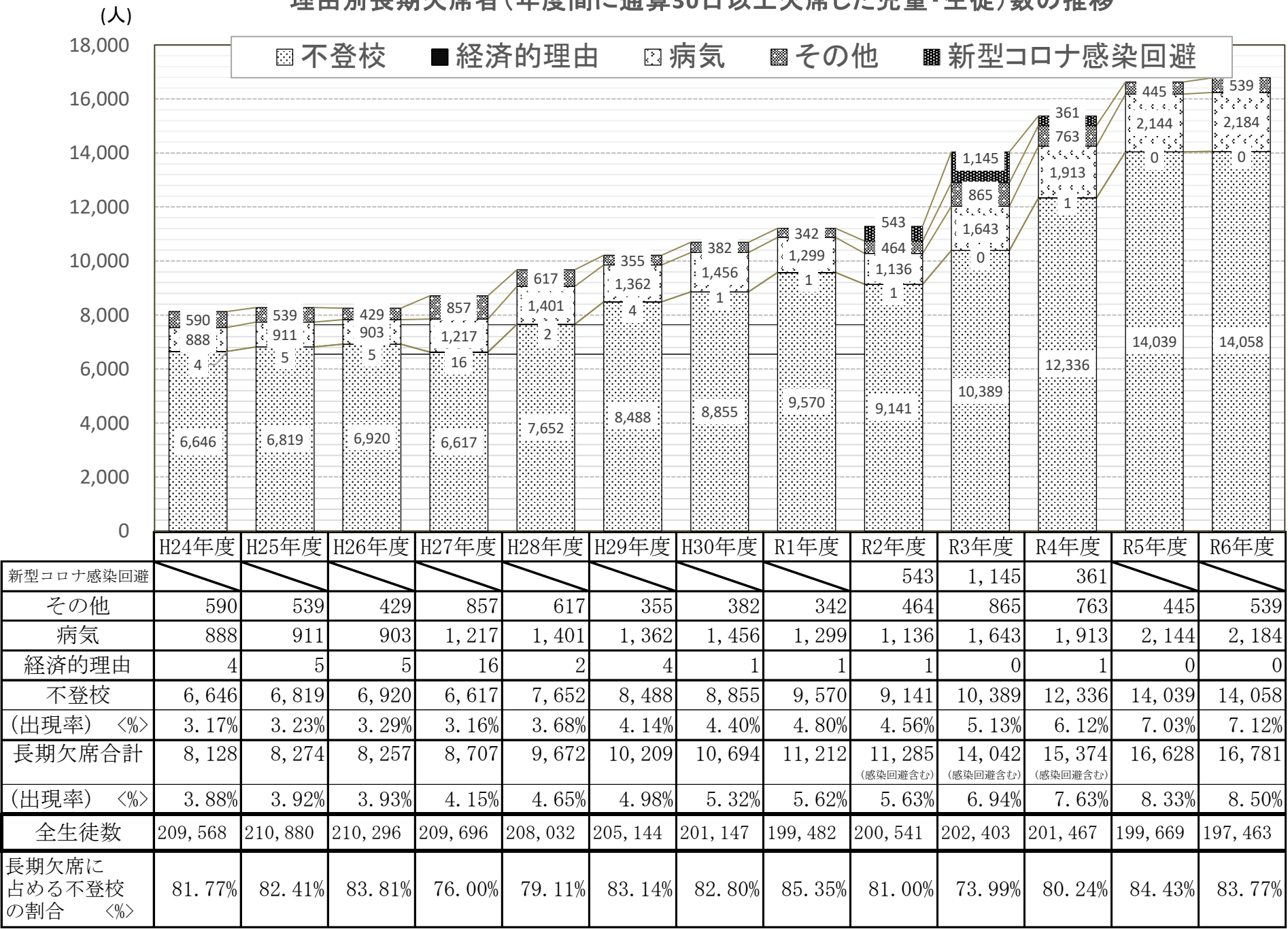
【小学校】

理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移

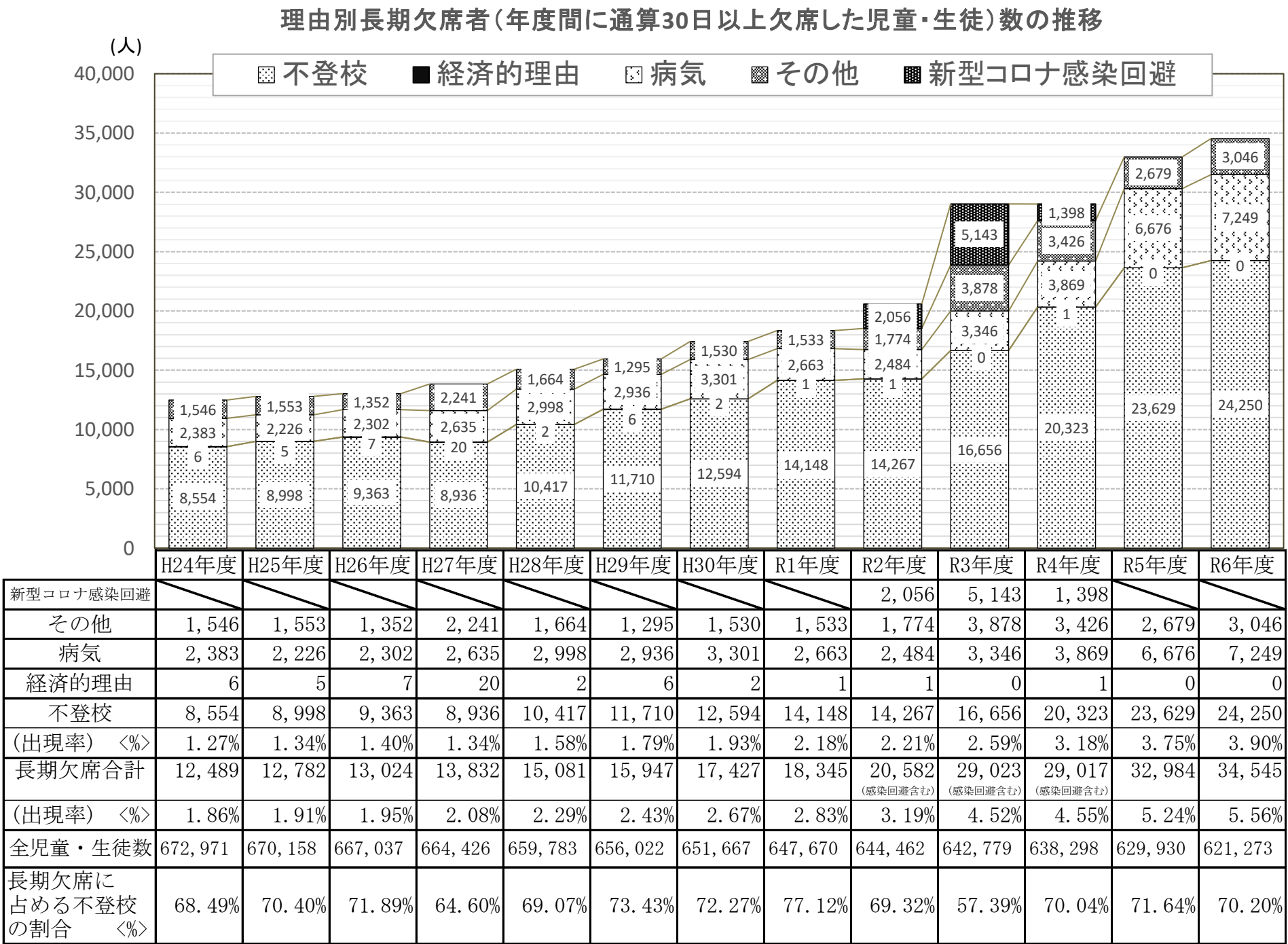


【中学校】

理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移



【小・中学校合計】



(3－2) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	699	1,149	1,446	1,851	2,305	2,742	10,192	3,785	4,884	5,389	14,058	24,250

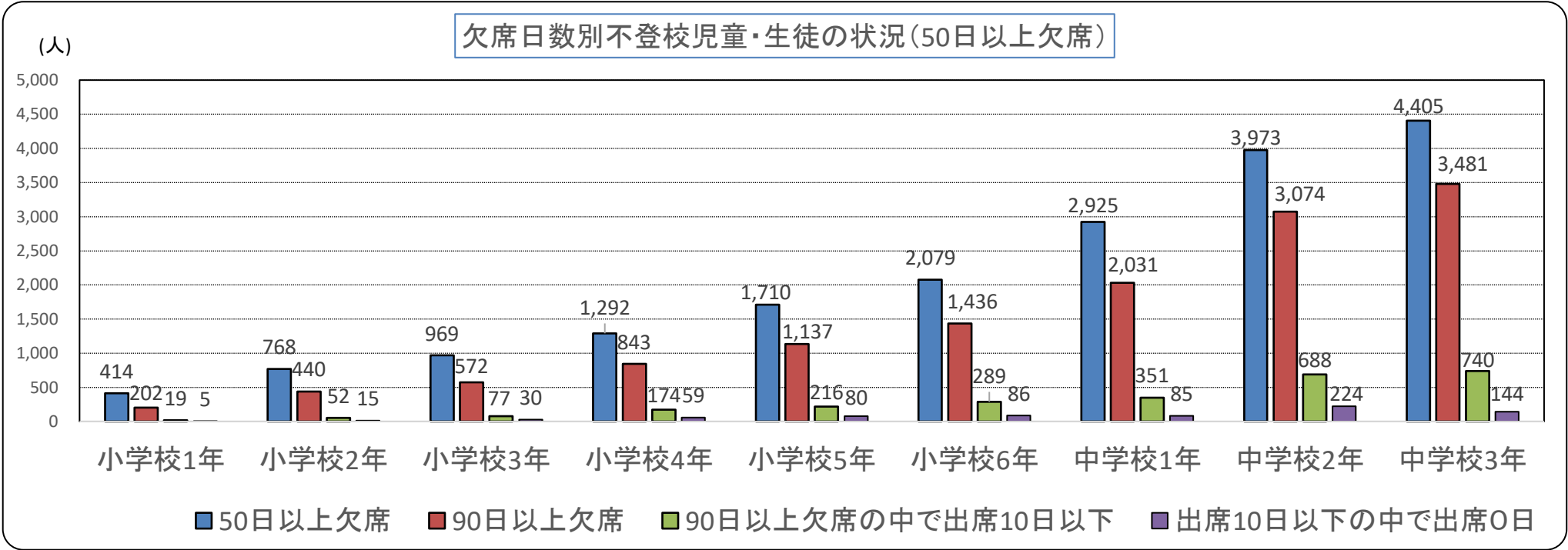
(参考2)
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校生徒 数の増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児童・ 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童・ 生徒数の増 減率(%)
7年度	487,323	1,026	0.21	—	237,307	3,905	1.65	—	724,630	4,931	0.68	—
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	▲ 13.5	215,077	6,599	3.07	▲ 0.4	664,032	8,243	1.24	▲ 3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	▲ 2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	▲ 9.6	194,953	7,007	3.59	▲ 1.6	652,354	8,976	1.38	▲ 3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	▲ 3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	▲ 0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	▲ 2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	▲ 4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	▲ 0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	▲ 4.0	678,141	9,819	1.45	▲ 2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	▲ 1.5	677,288	9,802	1.45	▲ 0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	▲ 4.3	207,684	7,132	3.43	▲ 5.6	677,226	9,281	1.37	▲ 5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	▲ 11.2	209,568	6,646	3.17	▲ 6.8	672,971	8,554	1.27	▲ 7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1
27年度	454,730	2,319	0.51	▲ 5.1	209,696	6,617	3.16	▲ 4.4	664,426	8,936	1.34	▲ 4.6
28年度	451,751	2,765	0.61	19.2	208,032	7,652	3.68	15.6	659,783	10,417	1.58	16.6
29年度	450,878	3,222	0.71	16.5	205,144	8,488	4.14	10.9	656,022	11,710	1.79	12.4
30年度	450,520	3,739	0.83	16.0	201,147	8,855	4.40	4.3	651,667	12,594	1.93	7.5
R1年度	448,188	4,578	1.02	22.4	199,482	9,570	4.80	8.1	647,670	14,148	2.18	12.3
R2年度	443,921	5,126	1.15	12.0	200,541	9,141	4.56	▲ 4.5	644,462	14,267	2.21	0.8
R3年度	440,376	6,267	1.42	22.3	202,403	10,389	5.13	13.7	642,779	16,656	2.59	16.7
R4年度	436,831	7,987	1.83	27.4	201,467	12,336	6.12	18.7	638,298	20,323	3.18	22.0
R5年度	430,261	9,590	2.23	20.1	199,669	14,039	7.03	13.8	629,930	23,629	3.75	16.3
R6年度	423,810	10,192	2.40	6.3	197,463	14,058	7.12	0.1	621,273	24,250	3.90	2.6

(3-3)欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	在籍児童・生徒数	不登校児童・生徒数	50日以上欠席		90日以上欠席		出席日数10日以下		出席日数が0日	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	66,805	699	414	59.2	202	28.9	19	2.7	5	0.7
	2年生	68,443	1,149	768	66.8	440	38.3	52	4.5	15	1.3
	3年生	71,243	1,446	969	67.0	572	39.6	77	5.3	30	2.1
	4年生	72,146	1,851	1,292	69.8	843	45.5	174	9.4	59	3.2
	5年生	71,723	2,305	1,710	74.2	1,137	49.3	216	9.4	80	3.5
	6年生	73,450	2,742	2,079	75.8	1,436	52.4	289	10.5	86	3.1
	計	423,810	10,192	7,232	71.0	4,630	45.4	827	8.1	275	2.7
中学校	1年生	64,572	3,785	2,925	77.3	2,031	53.7	351	9.3	85	2.2
	2年生	66,297	4,884	3,973	81.3	3,074	62.9	688	14.1	224	4.6
	3年生	66,594	5,389	4,405	81.7	3,481	64.6	740	13.7	144	2.7
	計	197,463	14,058	11,303	80.4	8,586	61.1	1,779	12.7	453	3.2
合計		621,273	24,250	18,535	76.4	13,216	54.5	2,606	10.7	728	3.0

(注)割合(%)は、各区分における不登校生徒数に対する割合



(3-4)不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A×100)
小学校	850	830	97.6
中学校	413	407	98.5
計	1,263	1,237	97.9

(3-5)不登校児童・生徒について把握した事実

学校種 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		いじめの被害の情報や相談があった。	情報や相談があった。友人関係をめぐる問題の	が教職員との関係をめぐる問題の情報や相談	た。学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られ	学校のきまり等に関する相談があった。	談入学、転編入学、進級時の不適応による相	た。家庭生活の変化に関する情報や相談があっ	が親子の関わり方に関する問題の情報や相談	生活リズムの不調に関する相談があった。	た。そび、非行に関する情報や相談があつ	が学校生活に対してやる気が出ない等の相談	不安・抑うつとの相談があった。	障害（疑い含む）に起因する特別な教育的	相談の求めや相談があった。	左記に該当なし
小学校	不登校児童・生徒について把握した事実(複数回答可)	382	1,090	584	1,409	151	396	817	1,414	2,182	125	2,642	2,792	1,199	949	782
中学校	不登校児童・生徒について把握した事実(複数回答可)	332	1,679	265	1,732	210	604	687	1,081	3,000	544	3,620	3,455	764	529	1,114

(注1)「相談」は、学級担任等の教職員やスクールカウンセラー等の相談員等と本人や保護者との相談とする。

(注2)複数回答のため、各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数と合わない

不登校児童・生徒数	小学校	10,192	中学校	14,058	合計	24,250
-----------	-----	--------	-----	--------	----	--------

(3-6)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	4,032	39.6	4,289	30.5	8,321	34.3
指導中の児童・生徒	6,160	60.4	9,769	69.5	15,929	65.7

(3-7)相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分		小学校						中学校						計											
		相談・指導等を受けた人数			指導要録上出席扱いした人数			相談・指導等を受けた人数			指導要録上出席扱いした人数			相談・指導等を受けた人数(A)			不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)			指導要録上出席扱いした人数(B)			B/A(%)		
			うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)		3,800	3,074	2,236	1,007	866	663	4,239	3,707	3,064	1,446	1239	1097	8,039	6,781	5,300	33.15	27.96	21.86	2,453	2,105	1,760	30.51	31.04	33.21
学校外	①教育支援センター(適応指導教室)	788	698	562	520	464	372	829	765	695	609	546	492	1,617	1,463	1,257	6.67	6.03	5.18	1,129	1,010	864	69.82	69.04	68.74
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	908	749	559	269	218	165	823	742	636	395	352	300	1,731	1,491	1,195	7.14	6.15	4.93	664	570	465	38.36	38.23	38.91
	③児童相談所、福祉事務所	561	457	313	47	34	19	740	615	472	133	100	83	1,301	1,072	785	5.36	4.42	3.24	180	134	102	13.84	12.50	12.99
	④保健所、精神保健福祉センター	45	35	19	5	4	2	78	71	65	5	4	4	123	106	84	0.51	0.44	0.35	10	8	6	8.13	7.55	7.14
	⑤病院、診療所	1,329	1,048	691	24	17	10	1,547	1,335	1,035	97	73	64	2,876	2,383	1,726	11.86	9.83	7.12	121	90	74	4.21	3.78	4.29
	⑥民間団体、民間施設	603	530	420	213	193	151	541	496	443	308	273	242	1,144	1,026	863	4.72	4.23	3.56	521	466	393	45.54	45.42	45.54
	⑦上記以外の機関等	149	122	96	22	19	14	204	186	168	47	40	38	353	308	264	1.46	1.27	1.09	69	59	52	19.55	19.16	19.70
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)		6,392	4,158	2,394	—	—	—	9,819	7,596	5,522	—	—	—	16,211	11,754	7,916	66.85	48.47	32.64	—	—	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)		4,398	3,310	2,168	—	—	—	4,709	3,934	2,973	—	—	—	9,107	7,244	5,141	37.55	29.87	21.20	—	—	—	—	—	—
学校内	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	974	720	434	—	—	—	1,313	1,035	701	—	—	—	2,287	1,755	1,135	9.43	7.24	4.68	—	—	—	—	—	—
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	3,965	2,989	1,984	—	—	—	3,835	3,261	2,523	—	—	—	7,800	6,250	4,507	32.16	25.77	18.59	—	—	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)		5,794	3,922	2,462	—	—	—	9,349	7,369	5,613	—	—	—	15,143	11,291	8,075	62.45	46.56	33.30	—	—	—	—	—	—
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)		3,742	2,310	1,323	—	—	—	6,771	5,145	3,740	—	—	—	10,513	7,455	5,063	43.35	30.74	20.88	—	—	—	—	—	—
うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数		3,252	2,018	1,139	—	—	—	6,002	4,588	3,293	—	—	—	9,254	6,606	4,432	38.16	27.24	18.28	—	—	—	—	—	—

(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(3－8)学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

小学校	中学校	計
1,007	1,446	2,453

(3－9)自宅におけるICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	521	510
うち(3－8)の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	180	147

(3－10)不登校児童・生徒が欠席期間中に行った学習の成果に係る成績評価について

区分		小学校	中学校
A 不登校児童・生徒の成績評価にあたって、学校教育法施行規則第57条第2項等や関係告示に基づき①～⑤における学習の成果を反映した実人数		1,549	3,942
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	928	3,524
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	1,330	2,854
	B ①自宅等	1,373	3,734
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	870	3,394
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	1,172	2,718
	B ②教育支援センター	122	159
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	43	105
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	113	120
	B ③教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(②を除く)	55	74
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	25	49
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	53	55
	B ④民間団体、民間施設	59	57
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	15	32
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	56	41
	B ⑤上記以外の機関等	23	37
	(a)うち、各教科の「観点別学習状況の評価」、「評定」等に反映した人数	14	32
	(b)うち、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に反映した人数	19	29

(注1)①～⑤の区分は複数回答を可とする。また、(a)の欄、(b)の欄についても複数回答を可とする。

(3-11)不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
令和6年度不登校児童・生徒数	1,149	1,446	1,851	2,305	2,742	9,493	3,785	4,884	5,389	14,058
うち令和5年度から継続	486	666	955	1,194	1,532	4,833	1,426	3,091	3,960	8,477
比率(%)	42.3	46.1	51.6	51.8	55.9	50.9	37.7	63.3	73.5	60.3

(3-12)教育委員会が設置する「教育支援センター」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	67	118	43.9	151	56.1	269	100.0
計	67	118	43.9	151	56.1	269	100.0

4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

(4－1)高等学校における理由別長期欠席者数

区分		在籍者数	理由別長期欠席者数									
			不登校		経済的理由		病気		その他		計	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
全 日 制		117,771	3,074	2.61	12	0.01	1,602	1.36	1,760	1.49	6,448	5.48
内 訳	1 年 生	32,510	662	2.04	2	0.01	297	0.91	209	0.64	1,170	3.60
	2 年 生	32,141	693	2.16	1	0.00	448	1.39	394	1.23	1,536	4.78
	3 年 生	31,295	768	2.45	5	0.02	580	1.85	709	2.27	2,062	6.59
	単 位 制	21,825	951	4.36	4	0.02	277	1.27	448	2.05	1,680	7.70
定 時 制		4,508	776	17.21	27	0.60	234	5.19	766	16.99	1,803	40.00
内 訳	1 年 生	341	43	12.61	1	0.29	17	4.99	7	2.05	68	19.94
	2 年 生	265	29	10.94	1	0.38	15	5.66	10	3.77	55	20.75
	3 年 生	243	11	4.53	1	0.41	22	9.05	17	7.00	51	20.99
	4 年 生	177	4	2.26	1	0.56	8	4.52	1	0.56	14	7.91
	単 位 制	3,482	689	19.79	23	0.66	172	4.94	731	20.99	1,615	46.38
計		122,279	3,850	3.15	39	0.03	1,836	1.50	2,526	2.07	8,251	6.75
内 訳	1 年 生	32,851	705	2.15	3	0.01	314	0.96	216	0.66	1,238	3.77
	2 年 生	32,406	722	2.23	2	0.01	463	1.43	404	1.25	1,591	4.91
	3 年 生	31,538	779	2.47	6	0.02	602	1.91	726	2.30	2,113	6.70
	4 年 生	177	4	2.26	1	0.56	8	4.52	1	0.56	14	7.91
	単 位 制	25,307	1,640	6.48	27	0.11	449	1.77	1,179	4.66	3,295	13.02

(注1)在籍者数は、令和6年4月1日現在

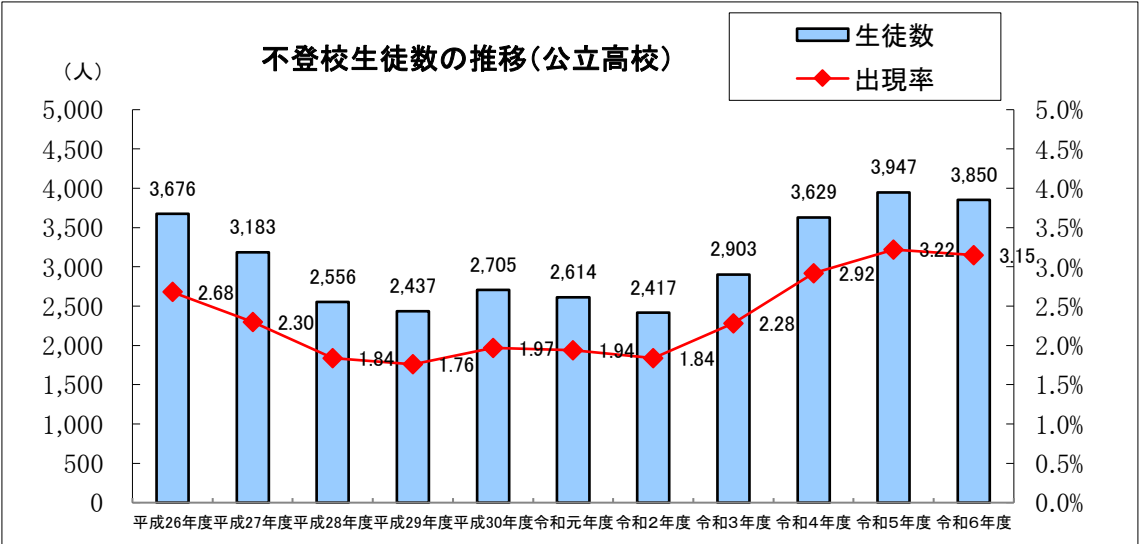
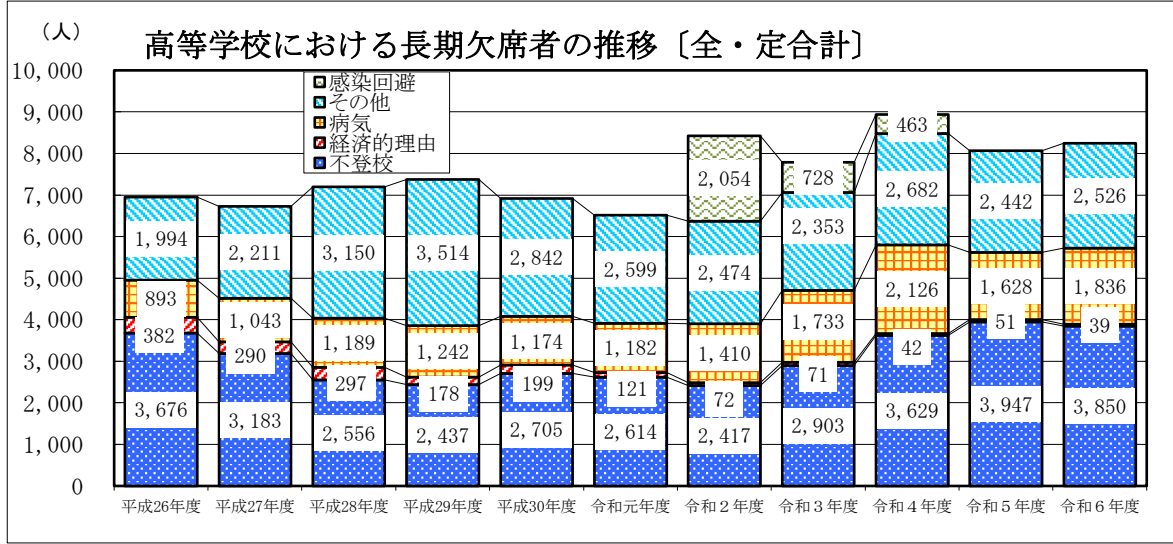
(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。
「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。
「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)。
「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席したもの。
「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席したもの。
「その他」：上記「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由により長期欠席したもの。
※令和5年度調査から新たに、「その他」の具体例として「感染症の回避」が加わった。

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

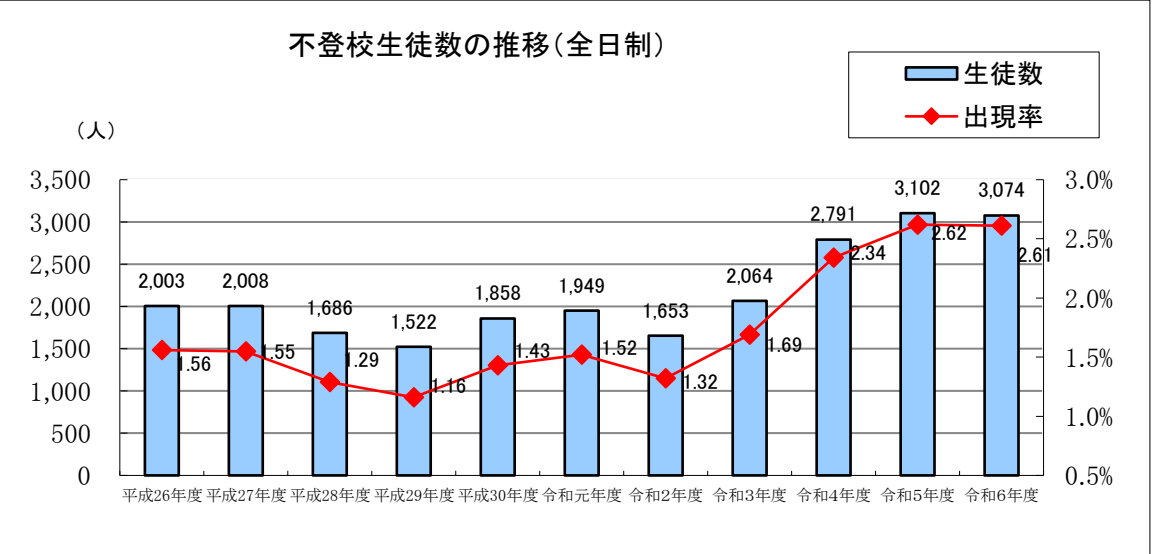
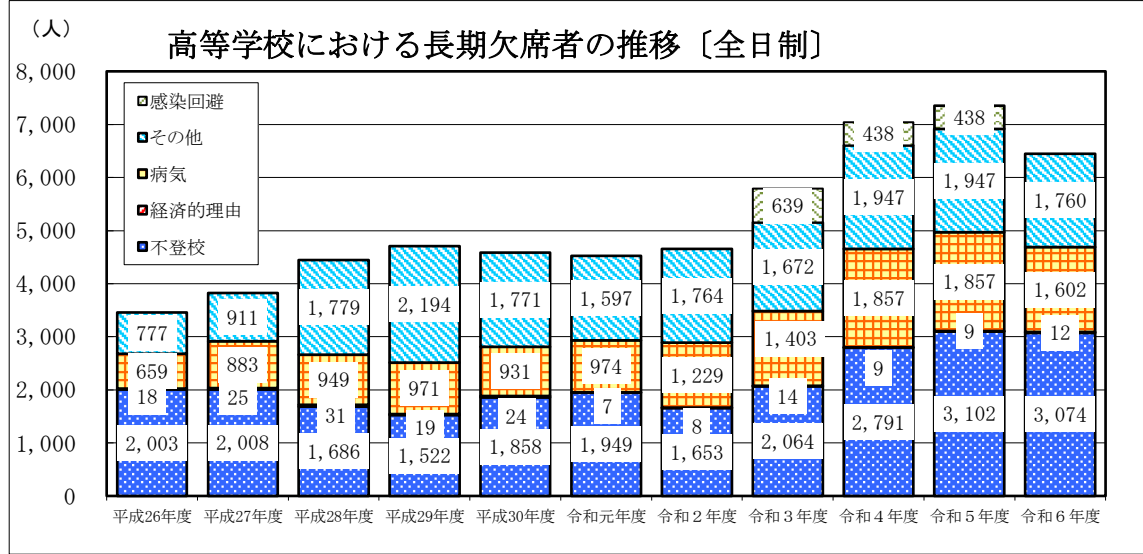
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
26年度	137,315	3,676	2.68	-	382	0.28	-	893	0.65	-	1,994	1.45	-	-	-	-	6,945	5.06	-
27年度	138,501	3,183	2.30	▲ 0.38	290	0.21	▲ 0.07	1,043	0.75	0.10	2,211	1.60	0.15	-	-	-	6,727	4.86	▲ 0.20
28年度	139,180	2,556	1.84	▲ 0.46	297	0.21	0.00	1,189	0.85	0.10	3,150	2.26	0.66	-	-	-	7,192	5.17	0.31
29年度	138,201	2,437	1.76	▲ 0.08	178	0.13	▲ 0.08	1,242	0.90	0.05	3,514	2.54	0.28	-	-	-	7,371	5.33	0.16
30年度	137,064	2,705	1.97	0.21	199	0.15	0.02	1,174	0.86	▲ 0.04	2,842	2.07	▲ 0.47	-	-	-	6,920	5.05	▲ 0.28
R1年度	134,593	2,614	1.94	▲ 0.03	121	0.09	▲ 0.06	1,182	0.88	0.02	2,599	1.93	▲ 0.14	-	-	-	6,516	4.84	▲ 0.21
R2年度	131,122	2,417	1.84	▲ 0.10	72	0.05	▲ 0.04	1,410	1.08	0.20	2,474	1.89	▲ 0.04	2,054	1.57	-	8,427	6.43	1.59
R3年度	127,406	2,903	2.28	0.44	71	0.06	0.01	1,733	1.36	0.28	2,353	1.85	▲ 0.04	728	0.57	▲ 1.00	7,788	6.11	▲ 0.32
R4年度	124,111	3,629	2.92	0.64	42	0.03	▲ 0.03	2,126	1.71	0.35	2,682	2.16	0.31	463	0.37	▲ 0.20	8,942	7.20	1.09
R5年度	122,702	3,947	3.22	0.30	51	0.04	0.01	1,628	1.33	▲ 0.38	2,442	1.99	▲ 0.17	-	-	-	8,068	6.58	▲ 0.62
R6年度	122,279	3,850	3.15	▲ 0.07	39	0.03	▲ 0.01	1,836	1.50	0.17	2,526	2.07	0.08	-	-	-	8,251	6.75	0.17



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
不登校 (出現率) <%>	3,676 2.68	3,183 2.30	2,556 1.84	2,437 1.76	2,705 1.97	2,614 1.94	2,417 1.84	2,903 2.28	3,629 2.92	3,947 3.22	3,850 3.15
経済的理由	382	290	297	178	199	121	72	71	42	51	39
病気	893	1,043	1,189	1,242	1,174	1,182	1,410	1,733	2,126	1,628	1,836
その他	1,994	2,211	3,150	3,514	2,842	2,599	2,474	2,353	2,682	2,442	2,526
新型コロナ感染回避							2,054	728	463		
長期欠席合計 (出現率) <%>	6,945 5.06	6,727 4.86	7,192 5.17	7,371 5.33	6,920 5.05	6,516 4.84	8,427 (感染回避含む) 6.43	7,788 (感染回避含む) 6.11	8,942 (感染回避含む) 7.20	8,068 6.58	8,251 6.75
全校生徒数	137,315	138,501	139,180	138,201	137,064	134,593	131,122	127,406	124,111	122,702	122,279
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	52.93	47.32	35.54	33.06	39.09	40.12	28.68	37.28	40.58	48.92	46.66

イ 公立高等学校全日制課程

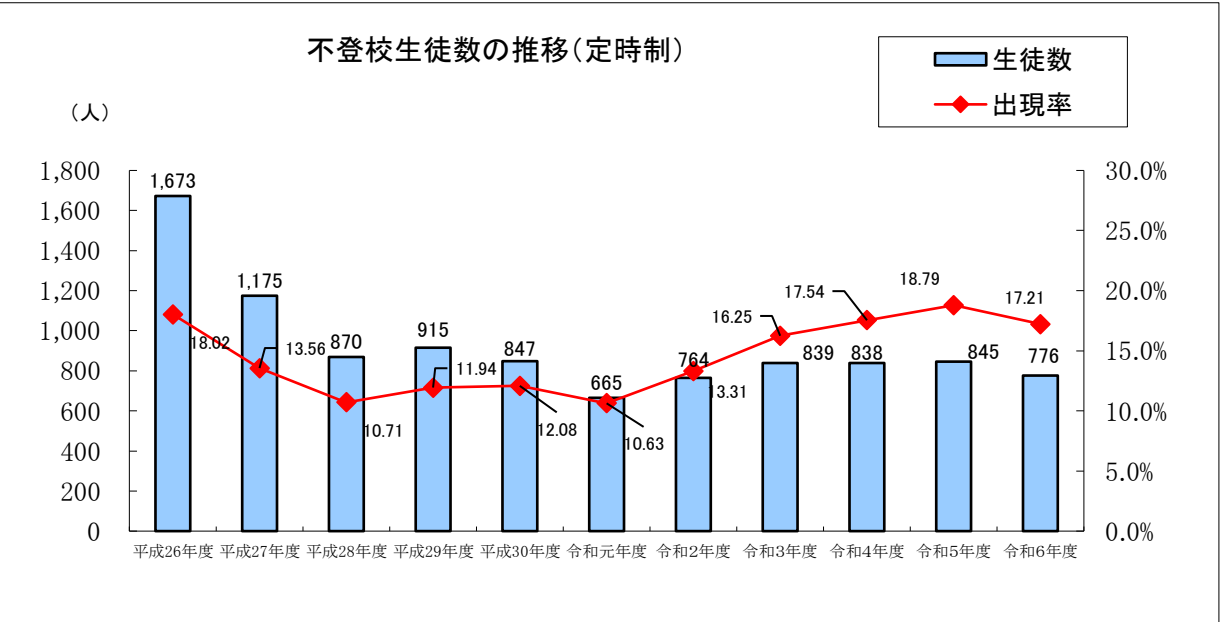
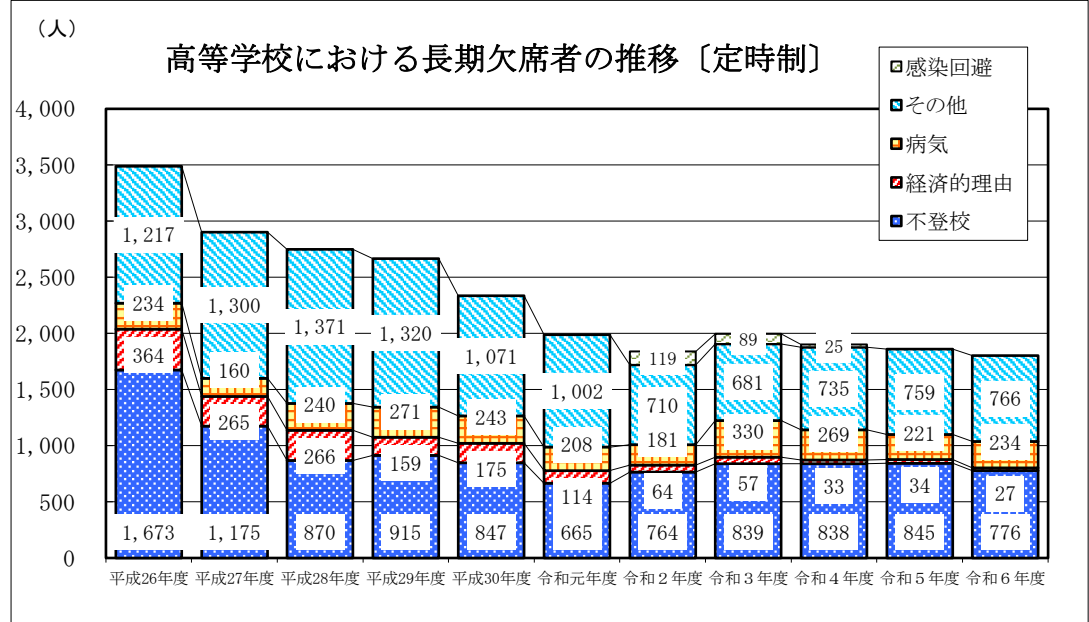
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
26年度	128,033	2,003	1.56	-	18	0.01	-	659	0.51	-	777	0.61	-	-	-	-	3,457	2.70	-
27年度	129,839	2,008	1.55	0.15	25	0.02	0.01	883	0.68	0.17	911	0.70	0.09	-	-	-	3,827	2.95	0.25
28年度	131,055	1,686	1.29	▲ 0.01	31	0.02	0.00	949	0.72	0.04	1,779	1.36	0.66	-	-	-	4,445	3.39	0.44
29年度	130,740	1,522	1.16	▲ 0.26	19	0.01	▲ 0.01	971	0.74	0.02	2,194	1.68	0.32	-	-	-	4,706	3.60	0.21
30年度	130,052	1,858	1.43	▲ 0.13	24	0.02	0.01	931	0.72	▲ 0.02	1,771	1.36	▲ 0.32	-	-	-	4,584	3.52	▲ 0.08
R1年度	128,336	1,949	1.52	0.27	7	0.01	▲ 0.01	974	0.76	0.04	1,597	1.24	▲ 0.12	-	-	-	4,527	3.53	0.01
R2年度	125,384	1,653	1.32	0.09	8	0.01	0.00	1,229	0.98	0.22	1,764	1.41	0.17	1,935	1.54	-	6,589	5.26	1.73
R3年度	122,244	2,064	1.69	▲ 0.20	14	0.01	0.00	1,403	1.15	0.17	1,672	1.37	▲ 0.04	639	0.52	▲ 1.02	5,792	4.74	▲ 0.52
R4年度	119,334	2,791	2.34	0.65	9	0.01	0.00	1,857	1.56	0.41	1,947	1.63	0.26	438	0.37	▲ 0.15	7,042	5.90	1.16
R5年度	118,204	3,102	2.62	0.28	17	0.01	0.00	1,407	1.19	▲ 0.37	1,683	1.42	▲ 0.21	-	-	-	6,209	5.25	▲ 0.65
R6年度	117,771	3,074	2.61	▲ 0.01	12	0.01	0.00	1,602	1.36	0.17	1,760	1.49	0.07	-	-	-	6,448	5.48	0.23



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
不登校 (出現率) <%>	2,003 1.56	2,008 1.55	1,686 1.29	1,522 1.16	1,858 1.43	1,949 1.52	1,653 1.32	2,064 1.69	2,791 2.34	3,102 2.62	3,074 2.61
経済的理由	18	25	31	19	24	7	8	14	9	17	12
病気	659	883	949	971	931	974	1,229	1,403	1,857	1,407	1,602
その他	777	911	1,779	2,194	1,771	1,597	1,764	1,672	1,947	1,683	1,760
新型コロナ感染回避							1,935	639	438		
長期欠席合計 (出現率) <%>	3,457 2.70	3,827 2.95	4,445 3.39	4,706 3.60	4,584 3.52	4,527 3.53	6,589 (感染回避含む) 5.26	5,792 (感染回避含む) 4.74	7,042 (感染回避含む) 5.90	6,209 5.25	6,448 5.48
全校生徒数	128,033	129,839	131,055	130,740	130,052	128,336	125,384	122,244	119,334	118,204	117,771
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	57.94	52.47	37.93	32.34	40.53	43.05	25.09	35.64	39.63	49.96	47.67

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			新型コロナ感染回避			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
26年度	9,282	1,673	18.02	-	364	3.92	-	234	2.52	-	1,217	13.11	-	-	-	-	3,488	37.58	-
27年度	8,662	1,175	13.56	▲ 4.46	265	3.06	▲ 0.86	160	1.85	▲ 0.67	1,300	15.01	1.90	-	-	-	2,900	33.48	▲ 4.10
28年度	8,125	870	10.71	▲ 2.85	266	3.27	0.21	240	2.95	1.10	1,371	16.87	1.86	-	-	-	2,747	33.81	0.33
29年度	7,661	915	11.94	1.23	159	2.08	▲ 1.19	271	3.54	0.59	1,320	17.23	0.36	-	-	-	2,665	34.79	0.98
30年度	7,012	847	12.08	0.14	175	2.50	0.42	243	3.47	▲ 0.07	1,071	15.27	▲ 1.96	-	-	-	2,336	33.31	▲ 1.48
R1年度	6,257	665	10.63	▲ 1.45	114	1.82	▲ 0.68	208	3.32	▲ 0.15	1,002	16.01	0.74	-	-	-	1,989	31.79	▲ 1.52
R2年度	5,738	764	13.31	2.68	64	1.12	▲ 0.70	181	3.15	▲ 0.17	710	12.37	▲ 3.64	119	2.07	-	1,838	32.03	0.24
R3年度	5,162	839	16.25	2.94	57	1.10	▲ 0.02	330	6.39	3.24	681	13.19	0.82	89	1.72	▲ 0.35	1,996	38.67	6.64
R4年度	4,777	838	17.54	1.29	33	0.69	▲ 0.41	269	5.63	▲ 0.76	735	15.39	2.20	25	0.52	▲ 1.20	1,900	39.77	1.10
R5年度	4,498	845	18.79	1.25	34	0.76	0.07	221	4.91	▲ 0.72	759	16.87	1.48	-	-	-	1,859	41.33	1.56
R6年度	4,508	776	17.21	▲ 1.58	27	0.60	▲ 0.16	234	5.19	0.28	766	16.99	0.12	-	-	-	1,803	40.00	▲ 1.33



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
不登校 (出現率) <%>	1,673 18.02	1,175 13.56	870 10.71	915 11.94	847 12.08	665 10.63	764 13.31	839 16.25	838 17.54	845 18.79	776 17.21
経済的理由	364	265	266	159	175	114	64	57	33	34	27
病気	234	160	240	271	243	208	181	330	269	221	234
その他	1,217	1,300	1,371	1,320	1,071	1,002	710	681	735	759	766
新型コロナ感染回避							119	89	25		
長期欠席合計 (出現率) <%>	3,488 37.58	2,900 33.48	2,747 33.81	2,665 34.79	2,336 33.31	1,989 31.79	1,838 (感染回避含む) 32.03	1,996 (感染回避含む) 38.67	1,900 (感染回避含む) 39.77	1,859 41.33	1,803 40.00
全校生徒数	9,282	8,662	8,125	7,661	7,012	6,257	5,738	5,162	4,777	4,498	4,508
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	47.96	40.52	31.67	34.33	36.26	33.43	41.57	42.03	44.11	45.45	43.04

(4－2)不登校の状態が前年度から継続している生徒数

区分		1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計	
		不登校 生徒数	割合(%)	不登校 生徒数	割合(%)	不登校 生徒数	割合(%)	不登校 生徒数	割合(%)	不登校 生徒数	割合(%)	不登校 生徒数	割合(%)
全 日 制	不登校生徒数	662	—	693	—	768	—	—	—	951	—	3,074	—
	うち 前年度から継続	115	17.4	194	28.0	242	31.5	—	—	257	27.0	808	26.3
定 時 制	不登校生徒数	43	—	29	—	11	—	4	—	689	—	776	—
	うち 前年度から継続	10	23.3	13	44.8	6	54.5	1	25.0	460	66.8	490	63.1
計	不登校生徒数	705	—	722	—	779	—	4	—	1,640	—	3,850	—
	うち 前年度から継続	125	17.7	207	28.7	248	31.8	1	25.0	717	43.7	1,298	33.7

(注1)割合は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(4－3)不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分		全日制		定時制		計	
		生徒数	※(%)	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)
不登校生徒数		3,074	—	776	—	3,850	—
	うち中途退学に至った者	570	18.5	111	14.3	681	17.7
	うち原級留置に至った者	89	2.9	24	3.1	113	2.9

(注)※印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4－4)不登校生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(% (B/A×100)
全日制	147	140	95.2
定時制	27	27	100.0
計	174	167	96.0

(4－5)不登校生徒について把握した事実

学校種		区分														
		1 いじめの被害の情報や相談があった。	2 情報や相談が除く友人関係をめぐる問題の	3 が教職員との関係をめぐる問題の情報や相談	4 た。学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られ	5 学校のきまり等に関する相談があった。	6 談入学、転編入学、進級時の不適応による相	7 た。家庭生活の変化に関する情報や相談があっ	8 が親子の関わり方に関する問題の情報や相談	9 生活リズムの不調に関する相談があった。	10 た。あそび、非行に関する情報や相談があつ	11 が学校生活に対してやる気が出ない等の相談	12 不安・抑うつとの相談があった。	13 支援（疑い含む）に起因する特別な教育的	14 相談個別の配慮（13以外）についての求めや	15 左記に該当なし
全日制	不登校生徒について把握した事実(複数回答可)	16	333	38	273	51	256	179	232	903	147	941	414	56	50	489
定時制	不登校生徒について把握した事実(複数回答可)	8	52	12	62	13	35	58	91	267	92	272	94	19	12	152

(注1)「相談」は、本人や保護者からの相談とする。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(4－6)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制		(2)定時制		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	1,629	53.0	236	30.4	1,865	48.4
指導中の生徒	1,445	47.0	540	69.6	1,985	51.6

(4－7)不登校生徒に対する遠隔授業等の実施状況

区分		(1)全日制		(2)定時制		計	
		人数(人)	単位修得した生徒の割合(%)	人数(人)	単位修得した生徒の割合(%)	人数(人)	単位修得した生徒の割合(%)
学校教育法施行規則第88条の3に基づき、自宅その他特別な場所で遠隔授業を受けた人数		34	－	4	－	38	－
	そのうち、遠隔授業によって単位を修得した人数	20	58.8	0	0.0	20	52.6
学校教育法施行規則第88条の4に基づき、授業に代えて通信教育を受けた人数		66	－	1	－	67	－
	そのうち、通信教育によって単位を修得した人数	45	68.2	1	100.0	46	68.7

(注)「そのうち、遠隔授業によって単位を修得した人数」「そのうち、通信教育によって単位を修得した人数」については、修得した単位数は問わない。

(4－8)相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の生徒数

区分		全日制						定時制						計											
		相談・指導等を受けた人数			指導要録上出席扱いした人数			相談・指導等を受けた人数			指導要録上出席扱いした人数			相談・指導等を受けた人数(A)			不登校生徒数における(A)の割合(%)			指導要録上出席扱いした人数(B)			B/A(%)		
			うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上		うち50日以上	うち90日以上												
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)		447	270	124	11	7	0	122	101	70	0	0	0	569	371	194	14.78	9.64	5.04	11	7	0	1.93	1.89	0.00
学校外	①教育支援センター(適応指導教室)	16	11	6	1	1	0	2	2	2	0	0	0	18	13	8	0.47	0.34	0.21	1	1	0	5.56	7.69	0.00
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	21	12	9	3	1	0	5	4	2	0	0	0	26	16	11	0.68	0.42	0.29	3	1	0	11.54	6.25	0.00
	③児童相談所、福祉事務所	83	49	18	6	4	0	30	23	17	0	0	0	113	72	35	2.94	1.87	0.91	6	4	0	5.31	5.56	0.00
	④保健所、精神保健福祉センター	3	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0	5	3	3	0.13	0.08	0.08	0	0	0	0.00	0.00	0.00
	⑤病院、診療所	330	194	89	1	1	0	59	47	36	0	0	0	389	241	125	10.10	6.26	3.25	1	1	0	0.26	0.41	0.00
	⑥民間団体、民間施設	14	10	5	0	0	0	12	9	5	0	0	0	26	19	10	0.68	0.49	0.26	0	0	0	0.00	0.00	0.00
	⑦上記以外の機関等	23	17	10	0	0	0	22	19	10	0	0	0	45	36	20	1.17	0.94	0.52	0	0	0	0.00	0.00	0.00
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)		2,334	803	267	－	－	－	443	297	176	－	－	－	2,777	1,100	443	72.13	28.57	11.51	－	－	－	－	－	－
不明(実数)		293	128	46	－	－	－	211	142	73	－	－	－	504	270	119	13.09	7.01	3.09	－	－	－	－	－	－
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)		1,046	476	167	－	－	－	166	122	82	－	－	－	1,212	598	249	31.48	15.53	6.47	－	－	－	－	－	－
学校内	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	543	224	70	－	－	－	94	72	44	－	－	－	637	296	114	16.55	7.69	2.96	－	－	－	－	－	－
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	782	391	146	－	－	－	132	97	67	－	－	－	914	488	213	23.74	12.68	5.53	－	－	－	－	－	－
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)		2,028	725	270	－	－	－	610	418	237	－	－	－	2,638	1,143	507	68.52	29.69	13.17	－	－	－	－	－	－
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)		1,685	559	200	－	－	－	354	234	133	－	－	－	2,039	793	333	52.96	20.60	8.65	－	－	－	－	－	－
	うち、教職員から継続的な相談・指導等を受けていた人数	599	217	79	－	－	－	135	77	36	－	－	－	734	294	115	19.06	7.64	2.99	－	－	－	－	－	－

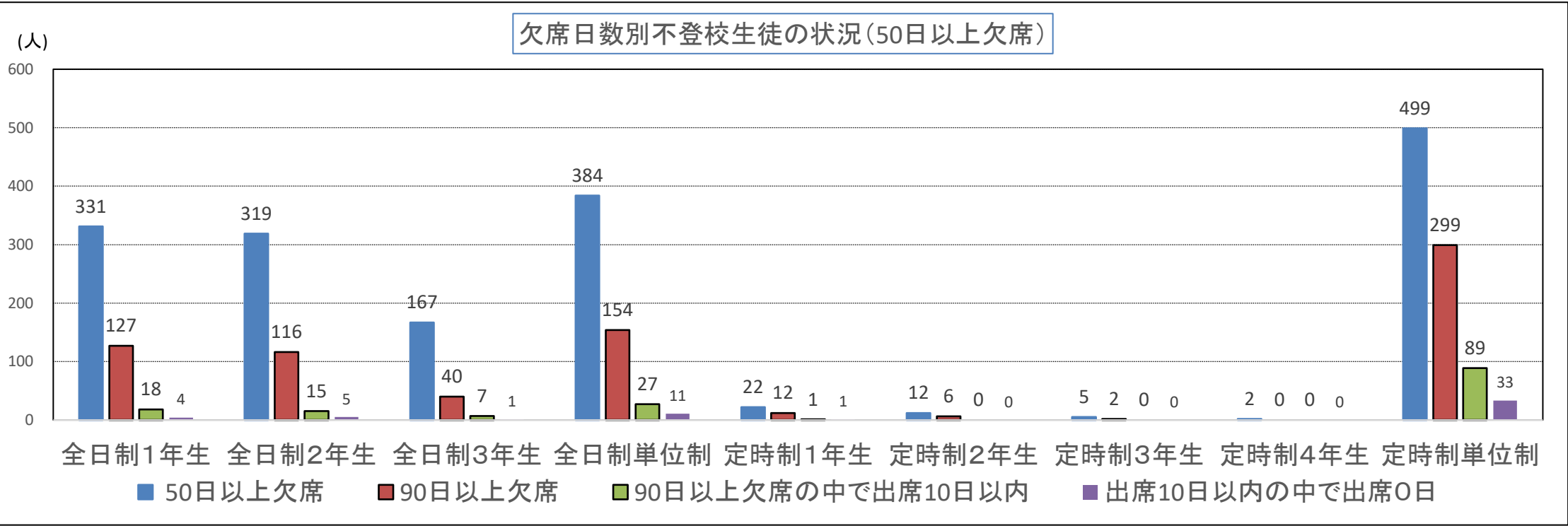
(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4-9)欠席日数別不登校生徒の状況

区分	学年	在籍生徒数	不登校生徒数	50日以上欠席							
								90日以上欠席			
								出席日数10日以下		出席日数が0日	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	1年生	32,510	662	331	50.0	127	19.2	18	2.7	4	0.6
	2年生	32,141	693	319	46.0	116	16.7	15	2.2	5	0.7
	3年生	31,295	768	167	21.7	40	5.2	7	0.9	1	0.1
	単位制	21,825	951	384	40.4	154	16.2	27	2.8	11	1.2
	計	117,771	3,074	1,201	39.1	437	14.2	67	2.2	21	0.7
定時制	1年生	341	43	22	51.2	12	27.9	1	2.3	1	2.3
	2年生	265	29	12	41.4	6	20.7	0	0.0	0	0.0
	3年生	243	11	5	45.5	2	18.2	0	0.0	0	0.0
	4年生	177	4	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	単位制	3,482	689	499	72.4	299	43.4	89	12.9	33	4.8
	計	4,508	776	540	69.6	319	41.1	90	11.6	34	4.4
合計		122,279	3,850	1,741	45.2	756	19.6	157	4.1	55	1.4

(注)割合(%)は、各区分における不登校生徒数に対する割合



5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

(5－1)課程・学年別中途退学者数

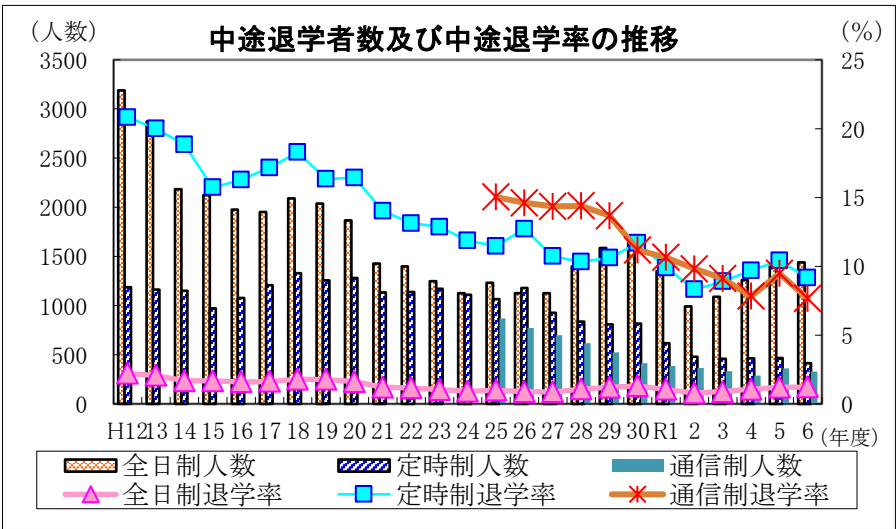
区分	全日制					定時制						通信制		合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制	計	
中途退学者数	508	375	126	431	1,440	66	22	13	2	310	413	327	327	2,180

(参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制			通信制		
	人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)	人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)	人数(人)	中途退学率(%)	増減(p)
平成12年度	3,188	2.21	－	1,187	20.83	－			
平成13年度	2,871	2.07	▲ 0.14	1,162	20.00	▲ 0.83			
平成14年度	2,185	1.67	▲ 0.40	1,150	18.83	▲ 1.17			
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	▲ 3.11			
平成16年度	1,976	1.60	▲ 0.07	1,078	16.28	0.56			
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88			
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12			
平成19年度	2,036	1.77	▲ 0.02	1,255	16.34	▲ 1.94			
平成20年度	1,865	1.61	▲ 0.16	1,279	16.44	0.10			
平成21年度	1,426	1.21	▲ 0.40	1,134	14.03	▲ 2.41			
平成22年度	1,398	1.16	▲ 0.05	1,139	13.12	▲ 0.91			
平成23年度	1,247	1.03	▲ 0.13	1,170	12.86	▲ 0.26			
平成24年度	1,125	0.91	▲ 0.12	1,109	11.86	▲ 1.00			
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	▲ 0.40	869	15.02	－
平成26年度	1,126	0.88	▲ 0.11	1,180	12.72	1.26	770	14.61	▲ 0.41
平成27年度	1,127	0.87	▲ 0.01	928	10.72	▲ 2.00	698	14.35	▲ 0.26
平成28年度	1,400	1.07	0.20	838	10.33	▲ 0.39	618	14.39	0.04
平成29年度	1,585	1.21	0.14	810	10.61	0.28	525	13.68	▲ 0.71
平成30年度	1,698	1.31	0.10	817	11.69	1.08	414	11.17	▲ 2.51
令和元年度	1,351	1.05	▲ 0.26	619	9.89	▲ 1.80	384	10.64	▲ 0.53
令和2年度	991	0.79	▲ 0.26	477	8.31	▲ 1.58	365	9.81	▲ 0.83
令和3年度	1,089	0.89	0.10	459	8.89	0.58	331	9.11	▲ 0.70
令和4年度	1,262	1.06	0.17	463	9.69	0.80	287	7.82	▲ 1.29
令和5年度	1,423	1.20	0.14	468	10.40	0.71	362	9.48	1.66
令和6年度	1,440	1.22	0.02	413	9.16	▲ 1.24	327	7.65	▲ 1.83

(注1)中途退学率は、令和6年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合
(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上



(5-2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	98	6.8	7	1.7	0	0.0
学校生活・学業不適応	665	46.2	153	37.0	17	5.2
進路変更	520	36.1	187	45.3	39	11.9
別の高校への入学を希望	194	13.5	42	10.2	11	3.4
専修・各種学校への入学を希望	10	0.7	5	1.2	4	1.2
就職を希望	138	9.6	90	21.8	14	4.3
高卒程度認定試験を受験希望	94	6.5	15	3.6	4	1.2
その他	84	5.8	35	8.5	6	1.8
病気・けが・死亡	46	3.2	14	3.4	4	1.2
経済的理由	1	0.1	3	0.7	0	0.0
家庭の事情	46	3.2	14	3.4	7	2.1
問題行動等	52	3.6	2	0.5	0	0.0
その他の理由	12	0.8	33	8.0	260	79.5
中途退学者数	1,440	100.0	413	100.0	327	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	1	100.00	0	0.0	0	0.0
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.00	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	0	0.00	3	100.0	0	0.0
④上記のいずれかにも該当しない者	0	0.00	0	0.0	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	1	100.00	3	100.0	0	0.0

(注1)①～③については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	345	1.21	163	4.05	—	—	66	19.35	—	—	574	1.75
2 年 生	271	0.96	104	2.75	—	—	22	8.30	—	—	397	1.23
3 年 生	97	0.35	29	0.79	—	—	13	5.35	—	—	139	0.44
4 年 生	—	—	—	—	—	—	2	1.13	—	—	2	1.13
単 位 制	313	2.38	34	1.16	84	1.46	310	8.90	327	7.65	1,068	3.61
合 計	1,026	1.05	330	2.29	84	1.46	413	9.16	327	7.65	2,180	1.72

(注)割合は、令和6年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
4 年 生	—	—	—	—	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注)割合は、令和6年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める懲戒による退学者の割合

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

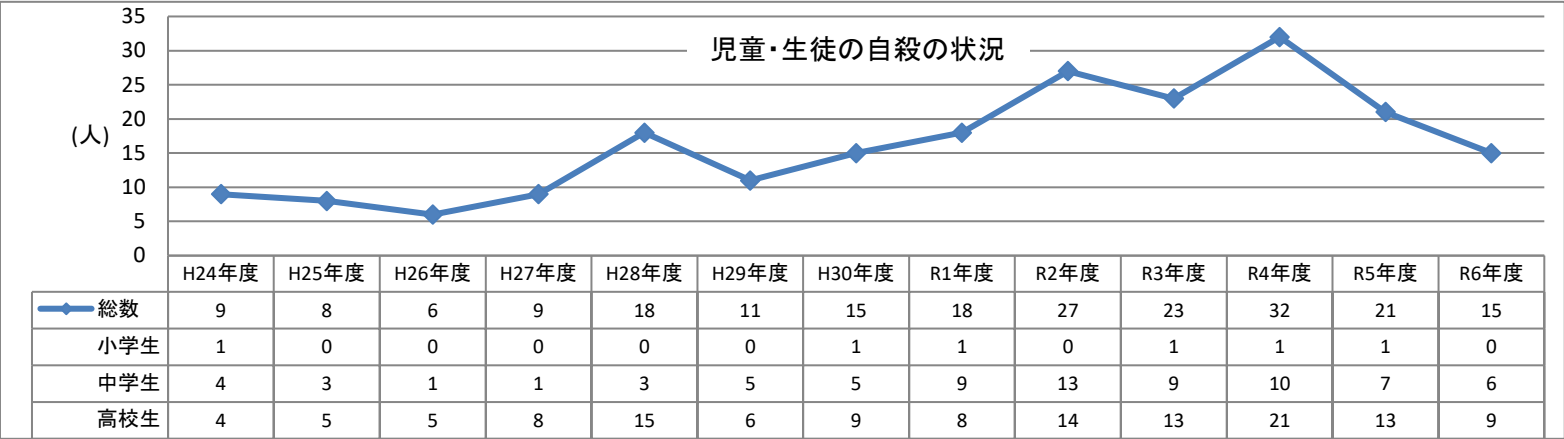
区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1 年 生	44	0.15	10	0.25	—	—	15	4.40	—	—	69	0.21
2 年 生	55	0.19	6	0.16	—	—	10	3.77	—	—	71	0.22
3 年 生	7	0.03	3	0.08	—	—	7	2.88	—	—	17	0.05
4 年 生	—	—	—	—	—	—	1	0.56	—	—	1	0.56
単 位 制	4	0.03	0	0.00	1	0.02	0	0.00	0	0.00	5	0.02
合 計	110	0.11	19	0.13	1	0.02	33	0.73	0	0.00	163	0.13

(注1)原級留置者とは、令和7年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、令和6年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

(6－1)児童・生徒の自殺の状況



(6－2)自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校					合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生	計	
男 子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	2	2	0	4	6
女 子	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4	2	2	1	0	5	9
計	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	6	2	4	3	0	9	15

(6－3)自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小・中・高 計	
	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	3	20.0
父母等の叱責	2	13.3
学業等不振	1	6.7
進路問題	1	6.7
教職員との関係での悩み	0	0.0
教職員による体罰、不適切指導	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	1	6.7
いじめの問題	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0
えん世	1	6.7
恋愛関係での悩み	0	0.0
精神障害	0	0.0
不明	11	73.3
その他	1	6.7

(注1)複数回答を可とする。

(注2)自殺した児童・生徒が置かれていた状況について、自殺の理由に関係なく、学校が事実として把握しているもの以外でも、警察等の関係機関や保護者、他の児童・生徒等の情報があれば、該当する項目を全て選択する。

(注3)それぞれの項目については、以下の具体例を参考にすること。

- ①家庭不和：父母や兄弟等との関係がうまくいかずに悩んでいた。等
- ②父母等の叱責：父母等から叱られ落ち込んでいた。等
- ③学業等不振：成績が以前と比べて大幅に落ち込んでいた。/授業や部活動についていけず悩んでいた。等
- ④進路問題：卒業後の進路に悩んでいた。/受験や就職試験に失敗した。/面接等で志望校への受験が困難である旨を告げられた。等
- ⑤教職員との関係での悩み（体罰、不適切指導を除く。）：学級担任との関係がうまくいかずに悩んでいた。/教職員からセクシャルハラスメントを受けた。等
- ⑥教職員による体罰、不適切指導：教職員が大声で怒鳴る、ものを叩く投げる等の威圧的な、感情的な言動で指導するなど、不適切な指導を行った。等
- ⑦友人関係の悩み(いじめを除く。)：友人とけんかをし、その後、関係がうまくいかずに悩んでいた。/クラスになじむことができずに悩んでいた。等
- ⑧いじめの問題：いじめられ、つらい思いをしていた。/保護者から自殺した児童・生徒に対していじめがあったのではないかと訴えがあった。/自殺した児童・生徒に対するいじめがあったと他の児童・生徒が証言していた。等
- ⑨病弱等による悲観：病気や病弱であることについて悩んでいた。等
- ⑩えん世：世の中を嫌なもの、価値のないものと思って悩んでいた。等
- ⑪恋愛関係での悩み：恋愛関係の問題について悩んでいた。等
- ⑫精神障害：精神障害で専門家による治療を受けていた。等
- ⑬不明：周囲から見ても普段の生活と変わらず、特に悩みを抱えている様子も見られなかった。等

7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
令和5年度	0	0	0

(7-2)出席停止の学年別件数

学年別件数												
区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	暴力行為	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

（8－1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育委員会	1	0	2	2
		(0.0)	(2.0)	(2.0)
教育センター・研究所	4	16	45	61
		(4.0)	(11.3)	(15.3)
教育相談所・相談室	4	0	87	87
		(0.0)	(21.8)	(21.8)

(注1)()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。
(注2)「教育委員会」の欄には教育委員会に教育相談員を置いている場合、機関数(カ所)に「1」を入力する。なお、指導主事が教育相談員を兼ねている等、他の業務を主とした上で教育相談員の業務を兼務している職員については、教育相談員数に数えない。
(注3)「教育センター・研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。
(注4)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

（8－2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等オンライン相談	計
教育委員会	1	34	0	0	0	35
教育センター・研究所	2,333	11,910	75	0	2,350	16,668
教育相談所・相談室	11,092	653	0	14,798	11	26,554
計	13,426	12,597	75	14,798	2,361	43,257

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。
(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。
(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

（8－3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育委員会での来所教育相談件数(A)	0	0	1	0	1
教育センター・研究所での来所教育相談件数(B)	737	308	232	1,056	2,333
教育相談所・相談室での来所相談件数(C)	3,785	5,268	1,701	338	11,092
来所教育相談総件数(AとBとCの合計)	4,522	5,576	1,934	1,394	13,426
	うち、いじめに関する教育相談件数	33	29	22	86
	うち、不登校に関する教育相談件数	3,701	5,068	1,603	744

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。
(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計
教育相談件数	電話相談	901	1,070	980	9,646	12,597
	訪問相談	19	11	2	43	75
	巡回相談	7,632	7,166	0	0	14,798
	SNS等オンラインを活用した相談	38	1,181	781	361	2,361
計		8,590	9,428	1,763	10,050	29,831
内数	いじめに関する相談	195	182	87	555	1,019
	不登校に関する相談	4,990	6,166	110	1,621	12,887

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	43
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	49	161	210
構成比(%)	23.3	76.7	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	1.1	3.7	4.9

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等オンライン を活用した相談	計
件数(件)	11,059	5,010	2,189	3,352	387	21,997

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-6) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールカウンセラーの活動日数別学校数

	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	0	0	0	0
②年間140日以上(常駐を除く)	4	1	1	6
③年間139日～70日	36	221	6	263
④年間69日～35日	502	138	159	799
⑤年間34日～20日	172	45	10	227
⑥年間19日～10日	117	6	0	123
⑦年間9日～1日	17	0	0	17
⑧年間0日(配置実績なし)	2	2	0	4
計	850	413	176	1,439

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上すること。活動日とは、スクールカウンセラーが学校へ出向くことをはじめ、児童・生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事した日を指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と考える。さらに、複数のスクールカウンセラーが配置されている学校については、配置されている者全員の活動日の合計を計上すること、例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールカウンセラーが相談業務に当たった場合、2日と考える。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールカウンセラーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。

(8-7) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールソーシャルワーカーの活動日数別学校数

	中学校区	小学校	中学校	高等学校	小・中・高 計
①常駐	0	0	0	0	0
②年間168日以上(常駐を除く)	15	21	9	0	30
③年間167日～84日	85	61	16	0	77
④年間83日～42日	152	72	57	14	143
⑤年間41日～20日	84	415	198	152	765
⑥年間19日～10日	27	76	56	2	134
⑦年間9日～1日	44	176	67	8	251
⑧年間0日(配置実績なし)	5	29	10	0	39
計	412	850	413	176	1,439

(注1) スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者か、あるいは、雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上。
活動日とは、スクールソーシャルワーカーが学校へ出向くことをはじめ、児童・生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事したことを指すものとする。
また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と数える。さらに、複数のスクールソーシャルワーカーが配置されている学校については、業務に当たっているスクールソーシャルワーカー全員の活動日の合計を計上。例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールソーシャルワーカーが業務に当たった場合、2日と数える。

(注2) 中学校区とは、中学校別の通学区域であり、1つの中学校とその通学区域内のある複数の小学校を総称するものであるが、各中学校区におけるすべての学校で対応実績があるかどうかにかかわらず、当該中学校区でスクールソーシャルワーカーが活動した日数を計上する。また、中学校区数の区分については、中学校区ごとに1日の活動時間数に関係なく、活動した日数の合計を記入する。

(注3) 常駐とは、スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注4) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。

9 暴力行為、いじめ、長期欠席 地域別の状況（公立小・中学校）

(9-1) 暴力行為の発生件数[地域別]（県立中等教育学校(前期課程)を除く）
 ▲減少

	令和6年度				令和5年度				令和6年度、5年度比較			
	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり
横浜市	5,742	1,448	7,190	29.1	5,013	1,151	6,164	24.6	729	297	1,026	4.5
川崎市	356	210	566	5.5	194	145	339	3.3	162	65	227	2.2
相模原市	1,409	248	1,657	34.1	600	263	863	17.4	809	▲ 15	794	16.7
横須賀市	221	32	253	10.5	258	31	289	11.7	▲ 37	1	▲ 36	▲ 1.2
湘南三浦	1,408	463	1,871	24.9	894	370	1,264	16.6	514	93	607	8.3
県央	1,008	428	1,436	23.2	864	348	1,212	19.3	144	80	224	3.9
中	338	168	506	12.9	429	238	667	16.6	▲ 91	▲ 70	▲ 161	▲ 3.7
県西	413	239	652	30.5	365	245	610	27.9	48	▲ 6	42	2.6
神奈川県	10,895	3,236	14,131	22.8	8,617	2,791	11,408	18.1	2,278	445	2,723	4.7

(9-2) いじめの認知件数[地域別]（県立中等教育学校(前期課程)を除く）

	令和6年度				令和5年度				令和6年度、5年度比較			
	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり
横浜市	17,143	4,508	21,651	87.6	13,261	2,913	16,174	64.6	3,882	1,595	5,477	23.0
川崎市	6,335	321	6,656	64.7	5,192	280	5,472	52.8	1,143	41	1,184	11.9
相模原市	1,213	415	1,628	33.5	1,460	397	1,857	37.5	▲ 247	18	▲ 229	▲ 4.0
横須賀市	969	145	1,114	46.1	1,031	149	1,180	47.7	▲ 62	▲ 4	▲ 66	▲ 1.6
湘南三浦	4,762	1,450	6,212	82.6	4,437	1,442	5,879	77.3	325	8	333	5.3
県央	4,038	541	4,579	74.0	4,368	533	4,901	78.1	▲ 330	8	▲ 322	▲ 4.1
中	5,200	908	6,108	155.8	5,094	794	5,888	146.8	106	114	220	9.0
県西	2,025	494	2,519	118.0	2,042	550	2,592	118.5	▲ 17	▲ 56	▲ 73	▲ 0.5
神奈川県	41,685	8,782	50,467	81.4	36,885	7,058	43,943	69.9	4,800	1,724	6,524	11.5

湘南三浦地域	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、葉山町、寒川町
県央地域	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
中地域	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
県西地域	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町 小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

(9－3) 理由別長期欠席児童・生徒数〔地域別〕(中等教育学校(前期課程)を除く)

※は1,000人あたりの人数

		令和6年度					令和5年度					令和6年度、5年度比較				
		長期欠席					長期欠席					長期欠席				
		計	不登校	病気	経済的理由	その他	計	不登校	病気	経済的理由	その他	計	不登校	病気	経済的理由	その他
横浜市	小	6,816	4,442	1,459	0	915	6,342	4,260	1,303	0	779	474	182	156	0	136
	中	6,229	5,608	452	0	169	6,077	5,515	446	0	116	152	93	6	0	53
	合計	13,045	10,050	1,911	0	1,084	12,419	9,775	1,749	0	895	626	275	162	0	189
	※	52.8	40.7				49.6	39.0				3.2	1.7			
川崎市	小	2,388	1,579	560	0	249	2,062	1,435	446	0	181	326	144	114	0	68
	中	2,072	1,872	139	0	61	2,040	1,826	182	0	32	32	46	▲ 43	0	29
	合計	4,460	3,451	699	0	310	4,102	3,261	628	0	213	358	190	71	0	97
	※	43.4	33.5				39.6	31.5				3.8	2.0			
相模原市	小	1,604	799	580	0	225	1,261	695	415	0	151	343	104	165	0	74
	中	1,489	1,285	169	0	35	1,516	1,375	122	0	19	▲ 27	▲ 90	47	0	16
	合計	3,093	2,084	749	0	260	2,777	2,070	537	0	170	316	14	212	0	90
	※	63.6	42.9				56.1	41.8				7.5	1.1			
横須賀市	小	917	500	313	0	104	837	515	233	0	89	80	▲ 15	80	0	15
	中	976	830	126	0	20	889	763	112	0	14	87	67	14	0	6
	合計	1,893	1,330	439	0	124	1,726	1,278	345	0	103	167	52	94	0	21
	※	78.4	55.1				69.7	51.6				8.7	3.5			
湘南三浦	小	2,345	1,141	753	0	451	2,222	1,021	769	0	432	123	120	▲ 16	0	19
	中	2,163	1,612	418	0	133	2,191	1,688	379	0	124	▲ 28	▲ 76	39	0	9
	合計	4,508	2,753	1,171	0	584	4,413	2,709	1,148	0	556	95	44	23	0	28
	※	60.0	36.6				58.1	35.6				1.9	1.0			
県央	小	1,814	843	695	0	276	1,770	789	661	0	320	44	54	34	0	▲ 44
	中	1,953	1,481	418	0	54	2,038	1,582	414	0	42	▲ 85	▲ 101	4	0	12
	合計	3,767	2,324	1,113	0	330	3,808	2,371	1,075	0	362	▲ 41	▲ 47	38	0	▲ 32
	※	60.9	37.5				60.7	37.8				0.2	▲ 0.3			
中	小	1,229	623	437	0	169	1,238	612	438	0	188	▲ 9	11	▲ 1	0	▲ 19
	中	1,223	887	302	0	34	1,222	827	336	0	59	1	60	▲ 34	0	▲ 25
	合計	2,452	1,510	739	0	203	2,460	1,439	774	0	247	▲ 8	71	▲ 35	0	▲ 44
	※	62.5	38.5				61.3	35.9				1.2	2.6			
県西	小	651	265	268	0	118	624	263	267	0	94	27	2	1	0	24
	中	635	456	147	0	32	613	427	149	0	37	22	29	▲ 2	0	▲ 5
	合計	1,286	721	415	0	150	1,237	690	416	0	131	49	31	▲ 1	0	19
	※	60.2	33.8				56.5	31.5				3.7	2.3			
神奈川県	小	17,764	10,192	5,065	0	2,507	16,356	9,590	4,532	0	2,234	1,408	602	533	0	273
	中	16,740	14,031	2,171	0	538	16,586	14,003	2,140	0	443	154	28	31	0	95
	合計	34,504	24,223	7,236	0	3,045	32,942	23,593	6,672	0	2,677	1,562	630	564	0	368
	※	55.6	39.0				52.4	37.5				3.2	1.5			